

# とやまの名勝

とやま文化財百選シリーズ (8)

とやまの名勝

富山県教育委員会



富山県教育委員会

## はじめに

富山県教育委員会では平成16年度から「とやま文化財百選」事業を行っています。これは、身近な文化財を対象に、郷土の誇りとして後世に受け継いでいきたいものを選定して、県民の皆さんがふるさとの文化財の価値を再認識し、地域ぐるみで保存・活用していくきっかけにさせていただくことを目的とした取り組みです。

これまで、「土蔵」、「獅子舞」、「祭り」、「年中行事」、「お城」、「近代歴史遺産」、「歴史的まちなみ」をテーマに取り上げました。今年度は第8弾として、優れた景観であるいわゆる名所を対象として、とやまの名勝百選として選定を行いました。

このガイドブックは、とやまの名勝の特徴や見どころなどとともに、選定された名勝の概要について紹介したものです。

富山県内には景色のよい土地で、風致景観として人々に親しまれているものや、先人から歌や絵画の素材として引き継がれてきたすばらしい自然や造営物があります。また、県民の生活や生業によって形成され、長い歴史と文化で磨き上げられた風土もあります。こうした資産には、地域住民などによって積極的な活用が図られ、地域の宝として大切に守られているものも少なくありません。本書では、このような魅力ある名勝を紹介しており、富山県の魅力の一端に触れていただきたいと考えています。是非、現地を訪れ、名勝のすばらしさを肌で味わってみてください。

## 目次

1 富山県の名勝	1
2 植物・動物の生息場所など	1
3 峡谷や滝など	2
4 公園や庭園など	2
5 文学・芸術作品の景観など	3
6 展望地点	3
7 とやまの名勝百選	5
8 とやまの名勝百選一覧	74
9 とやまの名勝百選マップ	78

(表紙写真は高岡市「雨晴海岸とその眺望」)

## 平成23年度とやま文化財百選選定委員会

委員

朝倉 隆文

平舘 英子

西村 正史

布村 昇

埴生 雅章 (五十音別、敬称略)

とやまの名勝百選は市町村と選定委員の推薦をもとに、選定委員会で検討しました。

地図出典：「電子国土」 URL <http://cyberjapan.jp/>

### とやまの名勝

編集・発行 富山県教育委員会 (生涯学習・文化財室)  
富山市新総曲輪1-7  
電話 076-444-3456  
<http://www.pref.toyama.lg.jp/>

発行年月日 平成24年3月

印刷 (株)タニグチ印刷



# 1 富山県の名勝

富山県は、三方を北アルプスなどの急峻な山々にかこまれ、深い富山湾を抱くように富山平野が広がっている。山岳地帯からは大きな河川が富山湾に向かって北流しており、典型的な扇状地地形となっている。このため、地形上からも、動・植物上からも例えば自然比率本州一が示すように、美しく豊かで個性的な自然が見られる。また、豊富な降水量から豊かできれいな水が生まれ、四季の移り変わりが鮮明である。冬は多雪で、夏は湿潤となり、厳しい自然環境にありながらも穏やかで豊饒な風土である。

本書のテーマとなった名勝とは、景色の良い土地で、風致景観として県民に親しまれているものや、先人から歌や絵画の素材として引き継がれてきたものであり、さらには、県民の生活、生業や風土によって形成され、本県の歴史や文化を象徴するものを指している。

具体的には、(1)花樹の叢生地、鳥獣等の生息地等、(2)峡谷、湖沼、海浜、温泉、山岳等、(3)公園、庭園、水田・畑地、定置網、ため池等、(4)文学・芸術作品に現れる景観等、(5)展望地点の5種類に分類したが、実に多様なものが含まれている。5種類の分類による選定件数は、下表のとおりである。

分類	(1) 植物・動物の生息場所など	(2) 峡谷や滝など	(3) 公園・庭園など	(4) 文学・芸術作品の景観など	(5) 展望地点
件数	61件	50件	52件	23件	36件

(選定は111件であるが、複数の種類に該当するものが多く、合計数は合致しない)

## 2 植物・動物の生息場所など

地域住民に身近な名所として親しまれている場所として、春を彩る桜並木がある。選定された桜並木は昭和20年以前のものであり、河川敷や堤防上で地域の人々の手によって植えられた並木が多い。神社や古刹の寺院の参道に植えられた並木では、スギやモミの古木が多い。

山岳地帯にある植物群落では、日本を代表する高山植物帯である白馬連山の群落や、立山連峰の高山地帯に生育するスギやブナの原生林がある。山中深くに生育する水芭蕉の群生地は貴重な自然環境である。富山湾沿岸の砂丘地帯に広がる松林は、背景となる北アルプスの峰々に映え、ひと際美しさを誇る。砂浜海岸が多く、散策の、そして憩いの場として親しまれているものも多い。

富山県らしい植物景観としては、カタクリの群生地がある。二上山と其中腹に位置する氣多神社では、可憐な桃色の花の絨毯が、春の風物詩となっている。奈良時代に国守として、国府のあった高岡市伏木に赴任した大伴家持が、万葉集の巻19の4143番歌に残した堅香子とはカタクリである。

### 3 峡谷や滝など

富山県は南側に北アルプスの峰々の屏風がそびえたち、日本の代表的な山岳地形が存在する。剣岳で象徴されるように、近世以前は信仰の山として人々の登山が制限されていたため、近代登山の発展とともに国内外に知られるようになった名山が多い。

3,000mの高山とそこから一気に流れ下る急流河川が、富山県の地形を特徴づけていることから、深く自然豊かな峡谷が多いことも特徴のひとつである。黒部峡谷は国内最大のV字峡であり、常願寺川の上流部では溶岩台地が浸食された深く直線的な断崖で形成された溪谷の景観が見られる。下流部では、早月川のように河床の大きな転石の隙間を勢いよく富山湾に流れ注ぐ河川の景観がみられる。

また、急流河川は典型的な扇状地地形をつくり、扇端部では豊富で清らかな伏流水が多く、湧水となっている。その周囲には、杉沢の沢スギなどのように独特の植生環境が保たれているものや、水藻や昆虫などの生息地として潤いある環境が維持されているものがある。

### 4 公園や庭園など

公園では、里山の地形がそのまま利用された自然公園が比較的多く存在する。富山市近郊には、呉羽山公園や婦中ふるさと自然公園など、呉羽山の小高い穏やかな丘陵上に遊歩道が設けられ、遠望を活かした眺望地点を兼ねる公園が整備されている。高岡市近郊の二上山も同様の性格を有する。

庭園では、古刹の境内に設けられたものがいくつかある。氷見市光久寺と南砺市善徳寺の庭園は、江戸時代に名庭師の駒造によって築庭されたと言われている。高岡市の国泰寺の庭園は、県内では数少ない石庭である。



松川の桜並木



黒部峡谷



光久寺の茶庭

農業景観では、里山や山中に設けられた棚田が農業景観を代表し、周囲の山並みと調和した美しい景観となっている。農林水産業に関する希有な景観としては、氷見市の定置網の景観、射水市の竹林の景観、砺波市と入善町のチューリップ畑の景観、砺波市の増山杉の景観などがある。

## 5 文学・芸術作品の景観など

『万葉集』は奈良時代に大伴家持が編纂したとされる日本最古の歌集である。家持は天平18年(746)から5年間、国守として越中に滞在した。その間に厳しいながらも美しく豊かな自然や風土に触れ、歌人として成長し、多くの秀歌を『万葉集』に残した。

家持が歌に詠んだ景観は、二上山と立山は神の住まいする神聖な山であり、片貝川や早月川は雪解け水の流れる急流であり、<sup>しふたに</sup> <sup>あお</sup> 渋<sup>に</sup>や英遠の浦は波浪の激しい海岸である。いずれも富山県を代表する美しい自然景観として現在でも親しまれている。

文学の舞台となった優れた景観としては、山岳文学に登場する山岳や溪谷がある。新田次郎の『劔岳 点の記』では、山岳地形の細かな描写と明治時代の登山の様子が記されている。黒部川の峡谷をテーマとして刊行された文学作品も多い。絵画に表わされた景観としては、立山曼荼羅に描写された立山と麓の集落の景観がある。室堂平、弥陀ヶ原、美女平、称名滝などが浄土の世界として描かれている。

## 6 展望地点

砺波平野は日本の代表的な散村景観を維持しており、屋敷林、アズマダチ、広大な水田、農水路などの美しい集落景観が見られる。周囲の丘陵や山頂からは、この散村景観を遠望することができ、県民の憩いの場として整備されている。

北アルプス立山連峰の荘厳な山並みは、富山県を代表する景観である。富山平野の東側に大きな屏風を立て懸けたかのようにそびえており、ほぼ県内一円から眺望することができる。とりわけ、高岡市から氷見市にかけての海岸からの富山湾越しの遠望は、県民の宝として愛されている。なお、春から初夏にかけて見られる魚津海岸からの蜃気楼の眺望は、世界的にも珍しい景観である。



劔岳



二上山丘陵



魚津浜と蜃気楼

## 本書での名勝の分類

	<b>(1) 植物・動物の生息場所など</b> ○花樹、花草、紅葉、緑樹などの叢生する場所 ○鳥獣、魚虫などの生息する場所 等	
	<b>(2) 峡谷や滝など</b> ○岩石・洞穴、峡谷・瀑布・渓流・深淵・湖沼・湿原・湧泉、砂丘・海浜・島嶼、山岳・丘陵・高原・河川 等	
	<b>(3) 公園・庭園など</b> ○公園・庭園、橋梁・築堤、散居村・棚田等の農業景観 等	
	<b>(4) 文学・芸術作品の景観など</b> ○『万葉集』など和歌集の歌枕 ○中世から近現代の文学作品や映画等に現れる景観 等	
	<b>(5) 展望地点</b> ○山・川・海等、自然景観の展望地点、集落等の展望地点、農林水産業に関する景観の展望地点 等	

## 本文の記載について

### 1 掲載順

富山県内を下記の4地区に区分して掲載した。番号は原則として、東から旧市町村ごとのまとまりで付してある。

「新川地区」：魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町

「富山地区」：富山市、舟橋村、上市町、立山町

「高岡地区」：高岡市、射水市、氷見市

「砺波地区」：砺波市、小矢部市、南砺市

### 2 選定された名勝の概要

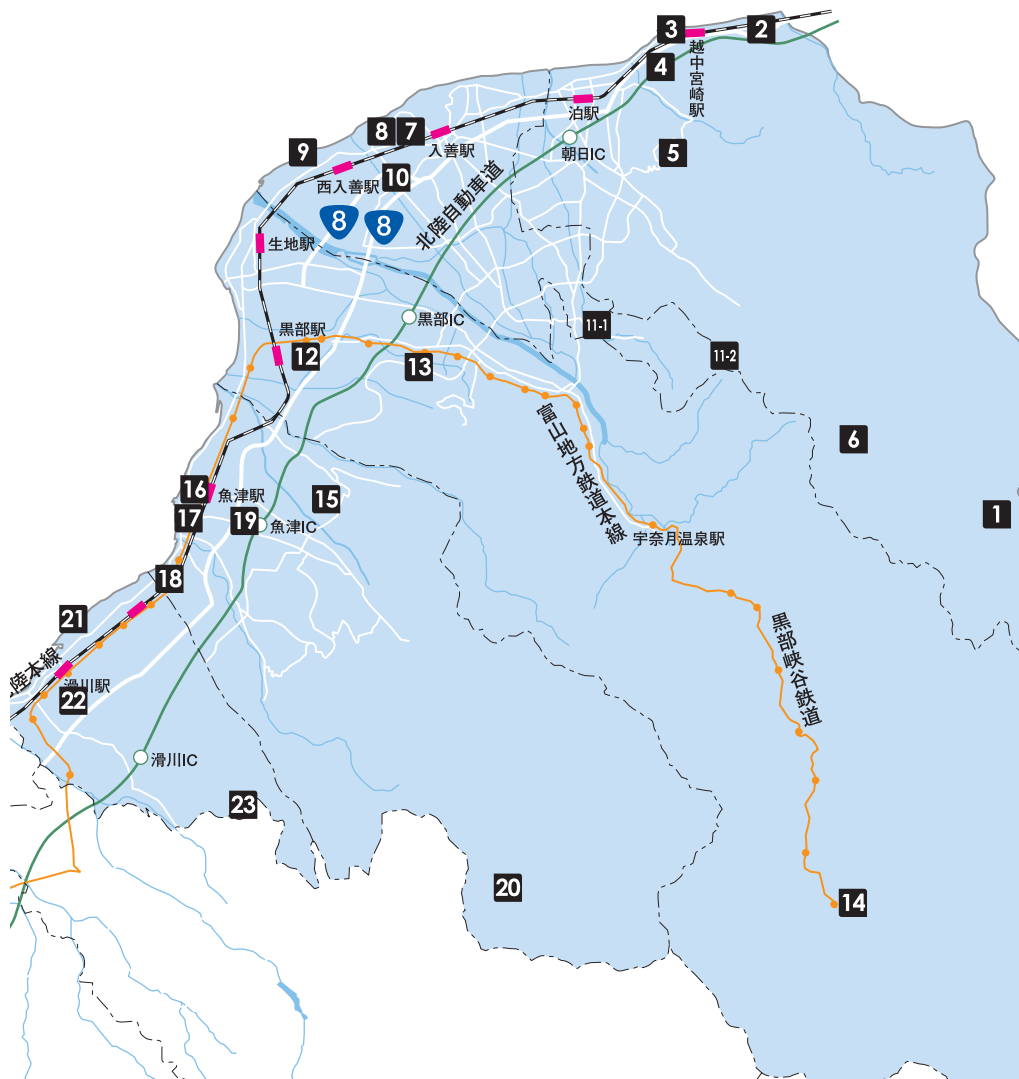
名称	「とやまの名勝」百選における名称を記述
所在地	名勝の所在地を記述
分類	名勝の分類を番号等に表示し、見出しにマークでも表示
概要	名勝の特徴や見どころを解説
見頃・ポイント	名勝の見頃や登場する文学・芸術作品・映画を記述するとともに、名勝が指定文化財である場合は、その種別を記述
行き方	名勝へのアクセスを記述



## 7 とやまの名勝百選

# 新川地区

魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町



1

しろまれんざんこうざんしよくぶつたい

## 白馬連山高山植物帯



所在地 下新川郡朝日町大蓮華(黒部市宇奈月町)

分類 (1)植物・動物(5)展望地点

概要 北アルプスの白馬岳から朝日岳にかけては広大な高山植物帯が分布し、国指定の特別天然記念物として保護されている。標高3,000m級の高山が連なり、厳しい風雪にさらされるとともに、変化に富んだ地形となっており、豊富な種類の高山植物が生育している。見頃は6月頃から8月にかけてであり、小さいながらも可憐な花びらを持つ花木が見事である。稜線からの北アルプスや日本海の眺望は格別である。

見頃・ポイント 夏期、国指定特別天然記念物

行き方 徒歩



(朝日町教育委員会提供)

2

ごこしのていえん

## 護国寺の庭園



所在地 下新川郡朝日町境

分類 (1)植物(3)庭園

概要 新潟県境の日本海に面する山腹に、弘法大師によって創建されたと伝えられる護国寺が存在する。境内の斜面に設けられた庭園には、4月から5月にかけてのシャクナゲ、5月のツツジ、6月のサツキとアジサイと鮮やかな花が咲き誇り、石楠花寺として知られている。住職により、地形を活かした池泉回遊式風に整えられ、背後の樹林や眼前に広がる日本海と調和した落ち着いた庭園として親しまれている。

見頃・ポイント ツツジ、シャクナゲ:5~6月、通年、事前の連絡が必要

行き方 最寄駅:JR「越中宮崎駅」、車:「朝日」ICから12分



## 3

ひすいかいがん

## ヒスイ海岸



所在地 下新川郡朝日町宮崎、境

分類 (2) 海浜(5) 展望地点

概要 朝日町の宮崎地区から境地区にかけて続く約4kmの海岸で、小石の中にヒスイの転石を見出すことができることから、ヒスイ海岸と呼ばれている。海岸近くまで延びている丘陵上には縄文時代の遺跡が多く、ヒスイの玉などが発掘されており、古代からヒスイ生産で栄えていたことが判明している。眼前にはエメラルドグリーン色に例えられる美しい日本海が広がり、夏季には海水浴客で賑わっている。

見頃・ポイント 通年

行き方 最寄駅:JR「越中宮崎駅」、車:「朝日」ICから約10分



(朝日町教育委員会提供)

## 4

あさひしろやまこうえん

## あさひ城山公園



所在地 下新川郡朝日町城山

分類 (1) 植物・動物(3) 公園(5) 展望地点

概要 北アルプス最北端では山岳の岩壁が日本海に沈みこみ、その尾根上にあさひ城山公園は位置している。中世には土着豪族の居城として整えられ、いくつかの曲輪が現存している。標高249mの頂部からは眼前に日本海と能登半島を一望でき、西方には黒部川扇状地をも眺望できる。山腹には多数の桜が植えられ、観光客で賑わう。近年では、木曾義仲が京へ攻め上がる際のゆかりの城として脚光を浴びている。

見頃・ポイント 春～秋、県指定史跡

行き方 車:「朝日」ICから約15分



(朝日町教育委員会提供)

## 5

しっちゃだき

## 七重滝



所在地 下新川郡朝日町笹川

分類 (2)滝

概要 飛騨山溪北端、南保富士を源とし、笹川の支流である七重谷川の上流に位置している。落差60mで7段になって流れ落ちている。樹林に覆われた狭い溪谷に細い筋として落下しながらも、豊富な水量で勢よく流れる景観には圧倒される。笹川集落から滝までの遊歩道が整備され、周囲のアカマツ、ヤマツツジ、コナラなどの林を抜けて、心地よいハイキングコースとして親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、町指定名勝

行き方 車:国道8号「横尾西」交差点から県道田中横尾線で七重川上流



(朝日町教育委員会提供)



(朝日町提供)

## 6

きたまたさんだんたき

## 北又三段滝



所在地 下新川郡朝日町北又谷

分類 (2)滝

概要 北アルプスを刻む黒蘆川は黒部川の支流で、その上流は北又と呼ばれる朝日岳などへの登山基地となっている。この近くのサカサマ谷の山腹に北又三段滝がある。褐色の岩盤を挟り取りながら三段の階段を、勢よく流れ下る滝の様相は、天空からの白布のような景観である。新緑の季節と紅葉の季節には、一層の彩が添えられ、隠れた名所として登山客に親しまれている。

見頃・ポイント 夏期

行き方 車:「朝日IC」から約30分、途中から徒歩



## 7

ながいみちとそのちょうぼう

## 「長い道」とその眺望



**所在地** 下新川郡入善町吉原、上原

**分類** (4) 文学

**概要** 吉原地区は日本海に面する漁業と農業の集落である。芥川賞作家の柏原兵三はこの集落に疎開し、後にここを舞台として、自伝的小説『長い道』を発表した。この集落から南の上原小学校までまっすぐに延びる通学路での出来事が主題となっており、この道は現在でも通学路・生活道路として地区住民に利用されている。電柱以外は遮るものがなく、まっすぐな道、広い水田、北アルプスの遠望と、見事な眺望となっている。

**見頃・ポイント** 通年、小説『長い道』、映画「少年時代」

**行き方** 最寄駅:JR「入善駅」、車:国道8号「上野(中)」  
交差点から約5分



## 8

すぎさわのさわすぎ

## 杉沢の沢スギ



**所在地** 下新川郡入善町吉原、柳原

**分類** (1) 植物・動物 (2) 沢

**概要** 黒部川扇状地では、かつて、海岸線に沿ってグリーンベルトのようにスギの樹林が形成されていた。現在は、吉原地区に約3haが国指定の天然記念物として残されているのみである。沢スギは湧水地帯に生育する自然林であり、浅い土壌の上に、くまなく根を広げて成長する。また、「黒部川扇状地湧水群」として全国名水百選にも選定されている。ガイダンス施設や遊歩道なども整備され、自然観察ができる樹林として親しまれている。

**見頃・ポイント** 春～秋、国指定天然記念物

**行き方** 車:「入善スマートIC」から約15分



**所在地** 下新川郡入善町下飯野

**分類** (2)海浜(5)展望地点

**概要** 黒部川河口の右岸に広がる砂丘と松林で、北方に日本海の、南方に北アルプスの遠望を眺望することができる。付近は黒部川扇状地の扇端部で湧き出る湧水地帯としても知られている。黒部川は上流から多量の土砂を運び、さらに風雪によって河口付近で砂丘を発達させたが、園家山は最大の砂浜である。キャンプ場が整備され、地域の人々の憩いの場として親しまれている。

**見頃・ポイント** 通年

**行き方** 最寄駅:JR「西入善駅」、車:「入善スマートIC」から約20分



(入善町教育委員会提供)



(入善町教育委員会提供)



**所在地** 下新川郡入善町の黒部川扇状地一帯

**分類** (1)植物(3)農業景観等(5)展望地点

**概要** 北アルプスの麓で、黒部川右岸の扇状地一帯ではチューリップ栽培が盛んである。4月下旬から5月上旬にかけては色とりどりのチューリップが残雪の北アルプスを背景に鮮やかに咲き誇る。砺波平野とともに黒部川扇状地でも栽培されており、富山県らしい農業景観のひとつである。毎年、4月下旬には「にゅうぜんフラワーロード」が設けられ、多くの行楽客で賑わい、春の風物詩となっている。

**見頃・ポイント** 4月下旬～5月上旬

**行き方** 最寄駅:JR「入善駅」

## 11

ふなみやまとおいつるしやまからのちょうぼう

## 舟見山と負釣山からの眺望



## 11-1 舟見山からの眺望

所在地 下新川郡入善町舟見

分類 (5)展望地点

概要 黒部川扇状地の右岸河岸段丘に位置する舟見山は、標高253mを測り、中世に土着の豪族の山城が存在した。現在は天守閣を模した資料館が設けられ、町民の憩いの場となっている。頂上からは北方に、ひばり野と呼ばれた河岸段丘上の水田地帯、北流する黒部川と黒部川扇状地、富山湾と能登半島を、南方には北アルプスの峰々の雄姿を遠望することができる格好の眺望地点である。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:「入善スマートIC」から県道入善宇奈月線で約20分



(入善町教育委員会提供)



(入善町教育委員会提供)

## 11

ふなみやまとおいつるしやまからのちょうぼう

## 舟見山と負釣山からの眺望



## 11-2 負釣山からの眺望

所在地 下新川郡入善町舟見

分類 (5)展望地点

概要 北アルプス朝日岳の西側にそびえる負釣山は標高959mを測り、深い樹林や鳥類・獣類が生息する自然豊かな山である。登山道が整備され、ハイキングを楽しむ人々に親しまれている。頂上からは、北方に黒部川扇状地に広がる水田や集落、さらには富山湾越しの能登半島の大パノラマを眺望することができる。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 徒歩



12

さいとくじのていえん

## 西徳寺の庭園



所在地 黒部市三日市

分類 (3)庭園

概要 黒部市の市街地に位置する浄土宗の西徳寺は、鎌倉初期の創建の縁起を有する古刹である。明治30年代に地元の庭師によって江戸時代の庭園の改修が始められ、昭和初期に完成したとされる。中央部に心字池を置き、池を渡る橋、樹木の楨、庭石の三尊石、築山などを配した回遊式の名園である。座敷からの観賞用としてもバランスよく配置されている。晩秋から春にかけて咲く四季桜も地域の人々に親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、市指定名勝、事前の連絡が必要

行き方 最寄駅：富山地鉄「電鉄黒部駅」、車：「黒部IC」から約20分



(黒部市教育委員会提供)



13

てんしんじのていえん

## 天真寺の庭園



所在地 黒部市若栗

分類 (3)庭園

概要 曹洞宗の天真寺の境内には、初代富山県知事の居宅であった松桜閣があり、近江八景を模した回遊式の庭園が設けられている。庭園は中央に池や様々な形の庭石が配置され、アカマツを主体とした多種の樹木が植えられている。松桜閣は明治16年に富山市内で建てられ、地区の豪農であった西田家を経て、明治24年に現在地に移築された。この数奇屋風の建物と四季の変化が見事な庭園が調和し、地域の貴重な遺産として親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、市指定名勝

行き方 最寄駅：富山地鉄「舌山駅」、車：「黒部IC」から約10分



14

くろべきょうこく

## 黒部峡谷



**所在地** 黒部市宇奈月町黒部、中新川郡立山町芦峯寺

**分類** (1)植物・動物(2)峡谷(4)文学・芸術作品

**概要** 北アルプスを立山連峰と後立山連峰に分断しながら日本海に注ぐ黒部川は、その上流域で日本一深いV字峡を刻んでいる。山肌は花崗岩で、断崖絶壁の谷底を流れる青い激流、兩岸の四季の新緑や紅葉など、我が国を代表する峡谷美を誇っている。近代に水力の電源開発が進められたが、地下に発電施設が設けられるなど、自然環境の保護が図られている。冠松次郎の名著をはじめ、ここを舞台とした小説等も多く刊行されている。

**見頃・ポイント** 4月末～11月末、小説・映画『黒部の太陽』、小説『高熱隧道』、国指定特別名勝特別天然記念物

**行き方** 黒部峡谷鉄道「櫛平」下車(黒部市)、立山黒部アルペンルート「黒部湖」下車(立山町)



黒部峡谷猿飛峡(黒部市)



黒部峡谷と黒部峡谷鉄道(黒部市)



「黒部平」から見る黒部峡谷(立山町)

15

てんじんやまとそのちようぼう

## 天神山とその眺望



所在地 魚津市小川寺

分類 (1)植物・動物(2)山岳(5)展望地点

概要 魚津市街の東側で独立した丸みのある小山が天神山であり、中世には上杉方の支城である山城として重要な役割を果たした。頂部からは北西側に魚津市街と富山湾を遠望することができ、格好の眺望地点となっている。山麓には移設された県指定文化財の旧沢崎家住宅や、麓の集落には古刹の千光寺が所在し、また昭和54年に植えられたソメイヨシノの並木と相まって、人々の憩いの場として親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、近隣施設「魚津歴史民俗博物館」

行き方 車:「魚津IC」から約30分、国道8号「木下新」交差点から約30分



16

そうがたけとゆきえ

## 僧ヶ岳と雪絵



所在地 魚津市二ヶ

分類 (1)植物・動物(2)山岳(5)展望地点

概要 立山連峰の北端に連なる標高1,855mの霊山で、浅いお椀を逆にしたような緩やかな稜線を新川地方一帯から眺望することができる。春の雪解け時には山腹に僧や馬などの雪絵が現れ、農作業の暦とされており、春の訪れの風物詩となっている。また、山肌は日本海から吹きつける冬の季節風をまともに受けることから風衝地帯とも言われ、変化に富んだ植物相が確認されている。登山家にも人気のある秀峰である。

見頃・ポイント 通年、雪絵:4月中旬～5月初旬

行き方 車:「魚津IC」から県道三箇吉島線、別又谷を遡上、途中から徒歩

17

うおづはまとしんきろうてんぼうちてん

魚津浜と蜃気楼展望地点



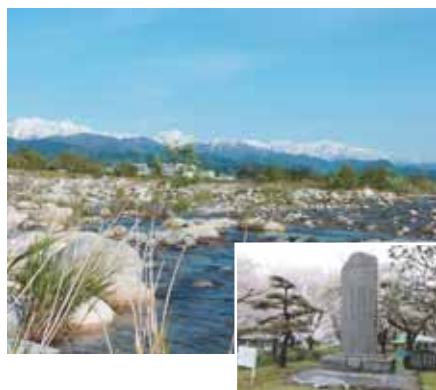
所在地 魚津市釈迦堂地先

分類 (2) 海浜 (4) 文学 (5) 展望地点

概要 魚津市釈迦堂付近の海岸では3月下旬から6月上旬にかけて、富山湾の海面上に出現する蜃気楼を眺望することができる。気温が上昇した日のお昼ごろに对岸の景色が伸展したり反転したりする現象で、世界的にも珍しい自然現象である。また、魚津港では昭和初期の掘削によって数千年前の埋没林が掘り起こされ、国指定の天然記念物となっている。さらに、8月には独特の提灯山である「たてもん」が海岸を巡行する行事も伝承されている。

見頃・ポイント 蜃気楼:4月下旬～6月上旬、魚津浜: 通年、魚津タテモン行事:8月第1金・土曜日

行き方 最寄駅:JR「魚津駅」、富山地鉄「新魚津駅」・「電鉄魚津駅」、車:「魚津IC」から10分



18

うづつがわのりゅうのたけなごみ

早月川下流の眺望と桜並木



所在地 魚津市三ヶ

分類 (1) 植物・動物 (2) 河川 (3) 公園 (4) 文学 (5) 展望地点

概要 北アルプスの名峰・剣岳を源とする早月川は、平均勾配が8.3%という急流河川である。かつては延槻川と呼ばれ、大伴家持が万葉集に水量豊かな川として歌を残している。河口付近でも大きな転石が河原を埋め、また清流越しの剣岳の雄姿は圧巻である。右岸の公園には昭和53年から桜の植樹が行われ、ソメイヨシノなどが咲き誇る「富山さくらの名所」として多くの人々が春光を楽しむ場ともなっている。

見頃・ポイント サクラ:4月上旬、早月川: 通年、『万葉集』、日本最大の万葉歌碑、近隣施設「魚津水族館」、「ミラージュランド」

行き方 最寄駅:JR「東滑川駅」、富山地鉄「西魚津駅」、車:「魚津IC」から約20分



19

うおづのりんごばたけけいかん

## 魚津のリンゴ畑景観



所在地 魚津市吉島など

分類 (1)植物(3)農業景観等

概要 魚津市は北アルプスが富山湾近くまで延びており、緩やかな傾斜面に農作地が広がっている。吉島地区の周辺では、明治時代の後期にリンゴ栽培が導入され、100年以上の歴史を誇っている。「加積リンゴ」の名称で親しまれ、主に生産農家の直売として販売されている。秋の訪れとともに、鮮やかな緑の絨毯の中に、赤く色づいたリンゴが点々と生育する様は、秋の風物詩であり、また県東部を代表する農業景観となっている。

見頃・ポイント リンゴ花:4月下旬～5月上旬

リンゴ:10月下旬～11月上旬

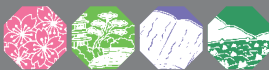
行き方 最寄駅:JR「魚津駅」、富山地铁「新魚津駅」、車:「魚津IC」



20

かたがわのどうすぎとそのけいかん

## 片貝川の洞杉とその景観



所在地 魚津市三ヶ

分類 (1)植物(2)河川(4)文学(5)展望地点

概要 北アルプスの猫又山に源を発する片貝川の上流部では、花崗岩質の巨大な転石が岩肌を被覆している。これを抱くかのように杉の巨木群が成育しており、独特の森林景観を呈している。樹齢は500年以上とも推測されており、古木であることから幹に空洞ができ、洞杉と呼ばれている。近くには蛇石と呼ばれる巨大な花崗岩が水神として崇められる。また万葉集では、川の美しい流れが大伴家持によって詠われている。

見頃・ポイント 5月～10月、『万葉集』

行き方 車:「魚津IC」、「東山橋」を渡り、片貝川右岸上流、途中の駐車場から徒歩





洞杉



## 21 ほたるいかぐんゆうかいめん

- 所在地** なめりかわ 滑川市の海岸一帯(富山市、魚津市)
- 分類** (1)動物(2)海浜
- 概要** 滑川市の沖合いは世界的にも珍しいホタルイカの生息地で、早月川と白岩川の間広がる海岸では、3月上旬から5月中旬までの夜間に、ホタルイカの神秘的な光を見ることができる。産卵のために200mの深海から岸辺に向かってホタルイカが押し寄せる現象であり、体長4~6cmの体に付いている約1,000個もの発光器から青白い光が放たれ、幻想的な景観となる。海面は国指定の特別天然記念物となっている。
- 見頃・ポイント** ホタルイカ漁:3月~5月、海岸:通年、国指定特別天然記念物
- 行き方** 最寄駅:JR「滑川駅」、富山地铁「滑川駅」、車:「滑川IC」から約20分

22

ぎょうでんこうえんのはなしょうぶえん

## 行田公園の花菖蒲園



所在地 滑川市上小泉

分類 (1)植物・動物(3)公園

概要 滑川市の市街地の南部に位置する自然公園で、旧上市川の流路で侵食された浅い谷地形がそのまま公園として活用されている。約66,000㎡の大きな公園であり、園内には四季を通じて美しい花が咲き誇る。とりわけ、6月中旬から下旬にかけて咲くハナショウブが見事で、約40,000株が植えられている。「行田の沢清水」と言われる湧水が園内いたるところで湧き出ており、豊かな樹林が公園の周囲を覆っている。

見頃・ポイント ハナショウブ:6月中旬、公園:通年

行き方 最寄駅:JR「滑川駅」、富山地铁「中滑川駅」、  
「滑川駅」、車:「滑川IC」から約10分



(滑川市教育委員会提供)

23

とうふくじのしぜんこうえんからのちょうぼう

## 東福寺野自然公園からの眺望



所在地 滑川市東福寺野

分類 (3)公園(5)展望地点

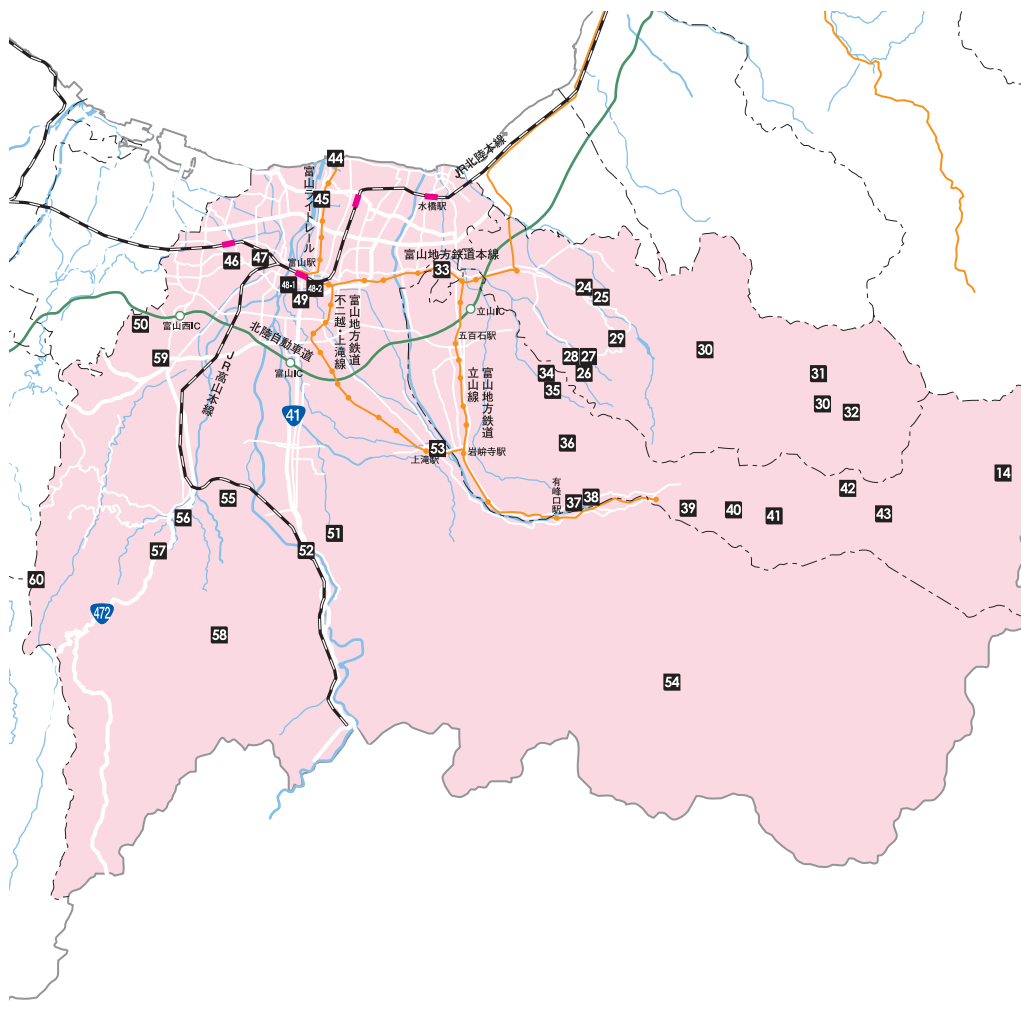
概要 早月川と郷川によって形成された河岸段丘上で、標高約300mの高台に東福寺野自然公園という市民が憩う自然豊かな公園が設けられている。北西側に段丘の滑らかな斜面が富山湾に向かって広がり、遠くは能登半島までを眺望することができる。30年前に設けられた「海の見える時計台」は洒落た洋風の木造建築で、滑川市出身の音楽家・高階哲夫氏のゆかりの品の展示や工夫をこらしたイベントなどが開催されている。

見頃・ポイント 4月～11月末

行き方 車:「滑川IC」から約30分

# 富山地区

富山市、舟橋村、上市町、立山町





24

りゅうせんじさんどうのとがなみき

## 立山寺参道のとが並木



所在地 中新川郡上市町眼目

分類 (1) 植物

概要 上市川の右岸段丘上には、14世紀に創建された曹洞宗の古刹・立山寺が存在する。山門前には約100mの参道が、北に向かって真っ直ぐに延びており、その両脇には県指定の天然記念物となっているトガの並木が立ち並んでいる。トガはモミの木の1種であり、北陸では寺院や神社に植えられて風格が醸し出されている。整然と天空に向かって生える姿には清廉さを感じられ、多くの参拝者や散策者が訪れている。

見頃・ポイント 通年、県指定天然記念物

行き方 車:「立山IC」もしくは「滑川IC」から約30分、上市川右岸上流



(上市町教育委員会提供)



(上市町教育委員会提供)

25

ままこたき

## まま子滝



所在地 中新川郡上市町釈泉寺

分類 (2) 滝

概要 上市川上流の右岸の山中に所在するまま子滝は、落差16mを測り、黒い岩盤を白い水が静かに落下しており、しばしば女性的な滝と例えられる。かつて、この滝壺に継母が子供を一度は投げ捨てたものの、夢枕に立った不動明王に責められて改心し、以後は子供を大切に育てたという伝説が残されている。うっそうとした樹林に覆われ、落ち着いた自然景観として地区の人々に親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:「立山IC」もしくは「滑川IC」から約40分、県道上市北馬場線、上市川右岸上流



26

せんがんけい

## 千巖溪



所在地 中新川郡上市町大岩

分類 (2) 溪流

概要 剣岳の西方の麓に真言宗の古刹・日石寺が存在する。山腹に設けられた寺院の周囲はうっそうとした樹木に覆われ、歴史的な重厚な雰囲気を残している。城ヶ平山への登山拠点でもあり、多くの登山者が訪れている。この古刹の北側を流れる大岩川の流域は、千巖溪と呼ばれる小さな滝が連続する溪流となっている。うっそうと樹木が生い茂り、苔むした岩石が転がり、その隙間を縫うかのように水が流れくだる景観は、人々の心を和ませる。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:「立山IC」もしくは「滑川IC」から約50分、「大岩山日石寺」から約10分



(上市町教育委員会提供)



(上市町教育委員会提供)

27

あそうのかまいけとつぶらいけ

## 浅生の釜池とつぶら池



所在地 中新川郡上市町浅生

分類 (2) 湖沼

概要 高峰山は上市市街地の南方にそびえる標高957.7mの山であり、かつてこの火山の爆裂によって生じた池が、釜池とつぶら池である。深い山中で、周囲がうっそうとした樹林で覆われ、神秘的な雰囲気を漂わせている。つぶら池の周辺には湿地帯が広がり、多様な湿原植物が生育している。整備された歩道等はないものの、静寂な雰囲気を楽しむ登山者に人気のあるコースとなっている。

見頃・ポイント 春～秋(冬期閉鎖)

行き方 車:「立山IC」もしくは「滑川IC」から約1時間、「大岩山日石寺」から約30分

28

にっせきしのけいだいとろっほんだき

## 日石寺の境内と六本滝



所在地 中新川郡上市町大岩

分類 (3)公園・庭園

概要 剣岳の西方の麓に真言宗の古刹・日石寺が存在する。8世紀に行基が開山したとの伝承があり、古代から中世にかけて山岳信仰の拠点として勢力を誇った。石仏は国の重要文化財に、境内は国の史跡に指定されている。境内に設けられている六本滝は寒修行の場であり、心身を清め、煩惱が洗い落とすものである。高さ約5.5mで6基の龍頭から落ちる滝に打たれる修行の様子は、冬の風物詩となっている。

見頃・ポイント 通年、六本滝での滝修行は寒の時期、境内及び堂内の磨崖仏は国指定文化財

行き方 車：「立山IC」もしくは「滑川IC」から約30分



(上市町教育委員会提供)



(上市町教育委員会提供)

29

ひがしたねのたなだ

## 東種の棚田



所在地 中新川郡上市町東種

分類 (3)農業景観等

概要 上市川上流の左岸の山中に小さな盆地状の地形が開け、東種の集落が存在する。周囲は小高い山々に囲まれ、集落下方の斜面に棚田が配置されている。所々にある岩石や自然石による畦畔がみられるなど、工夫の凝らされた棚田景観を呈している。穏やかな落ち着いた農業景観を呈しており、南側には立山連峰を、北側には富山湾越しの能登半島をも山間から眺望することができる。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車：「立山IC」から約50分

30

なかやまといおりからのつるぎだけちようほう

## 中山と伊折からの劔岳眺望



所在地 中新川郡上市町伊折、中山

分類 (5)展望地点

概要 劔岳は、北アルプス立山連峰の主峰のひとつで、日本屈指の名山である。富山平野からの容姿は、まさに劔の刃先のような鋭く険しい稜線を呈している。早月川の上流に位置する伊折橋からは、眼前に威風堂々の岩壁がそびえ立ち、迫りに満ちた岩肌を展望できる。標高1,255mの中山からは大きく延びる稜線や深く刻まれた谷地形など雄大な景観を眺望できる。格好のビューポイントとして登山者に親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、小説・映画『劔岳 点の記』

行き方 【伊折】車:「滑川IC」から約30分、早月川上流、【中山】同約40分の後、徒歩



伊折からの眺望



中山からの眺望

(上市町教育委員会提供)



# 31 つるぎだけ 劔岳



所在地 中新川郡上市町伊折

分類 (2) 山岳 (4) 文学・映画の舞台

概要 北アルプス立山連峰の主峰のひとつで、標高2,999mを測る日本屈指の名山である。富山平野からの容姿は、まさに劔の刃先のような鋭く険しい稜線を呈している。岩壁と雪渓で構成される岩肌は人々に異様で重々しい感情をも抱かせる。明治40年(1907)に測量官の柴崎芳太郎が頂上を極めた物語は、新田次郎の『劔岳 点の記』として刊行され、案内役の宇治長次郎の人物像とともに、全国に知られている。

見頃・ポイント 通年、小説・映画『劔岳 点の記』



(上市町教育委員会提供)

# 32 たてやまがわのきくし 立山川の菊石



所在地 中新川郡上市町伊折

分類 (2) 岩石・河川

概要 立山川は、劔岳から流れ下る早月川の上流部で合流する支流である。標高約1,000mの河床に菊石と呼ばれる巨大な転石が存在する。直径は約42mを測る片麻岩質の1枚岩で、急流河川の象徴とされる。立山への登山ルートに位置し、馬場島から林道も通じていることから、登山者の休憩地点や目印として知られている。かつて、菊の花が咲き乱れていたことから、菊石と呼ばれるようになったとされる。

見頃・ポイント 春～秋(冬期閉鎖)

行き方 車:「滑川IC」から約50分、早月川上流立山川沿い



33

むりょうじとはすばたけ

## 無量寺と蓮畑

所在地 中新川郡舟橋村竹内<sup>たけのうち</sup>

分類 (1) 植物

概要 常願寺川扇状地の扇央に位置する無量寺は、浄土真宗の古刹で、13世紀の創建と伝えられている。周囲には水田が広がり、のどかな田園空間となっている。山門の前には蓮畑が広がり、7月下旬から8月中旬にかけて、見事なハスが開花する。蓮畑越しの寺院の景観は地域の人々の心を和ませている。無量寺は明治時代初期に「ばんどり騒動」の舞台となった寺院であり、年貢の軽減を求めた一揆騒動でも知られている。

見頃・ポイント ハス:7月下旬～8月下旬、無量寺の本尊は県指定有形文化財

行き方 富山地铁「越中舟橋駅」から徒歩5分  
車:国道8号「金尾新」交差点から約10分



(舟橋村教育委員会提供)



(立山町教育委員会提供)

34

だいかんぼうしぜんこうえんからのちょうぼう

## 大観峯自然公園からの眺望

所在地 中新川郡立山町四谷尾<sup>しだにお</sup>

分類 (5) 展望地点

概要 高峰山の北西麓で、標高325mの丘陵上に大観峯自然公園が位置する。展望台からは、東側に立山連峰の大パノラマが、西側に富山平野の穀倉地帯が、北側に富山湾越しの能登半島が眺望できる。地区では、カメとカエルにまつわる民話も伝承されており、地域の人々に親しまれている公園である。周囲はキャンプ場や遊歩道などが整備され、四季の変化を体験することができる自然公園である。

見頃・ポイント 春～秋(冬期閉鎖)

行き方 車:「立山IC」から約20分

35

いわむろのたき

## 岩室の滝



所在地 中新川郡立山町虫谷

分類 (2) 滝

概要 岩室の滝は、白岩川の支流で塔倉山の北斜面を流れ下る虫谷川の上流に位置する。周囲は昼でもうっそうとした樹林に覆われ、滝音が静かな山々に響き渡る。滝は24mの落差で一直線に流れ落ちており、両岸は40mもの安山岩の岩壁がそびえる。滝壺の右側の岩壁は深くえぐられて洞窟をなしている。探訪者はさほど多くなく、自然の美しさと神秘さが保存されている滝であり、県指定の天然記念物となっている。

見頃・ポイント 春～秋(冬期閉鎖)、県指定天然記念物

行き方 車:「立山IC」から約20分、虫谷川上流



(立山町教育委員会提供)



(立山町教育委員会提供)

36

ながらのみずばしょう

## 長倉のミズバショウ



所在地 中新川郡立山町長倉

分類 (1) 植物

概要 塔倉山の西麓で周囲を大辻山、高峰山、来拝山に囲まれた山中に、ミズバショウの群生地が広がっている。標高は700m程で、緩い斜面に湿原が見られ、ミズバショウの生育の適地になっていると見られる。5月中旬の雪解け時に、純白の包葉を一斉に開く様相は、険しい山中にありながらも幻想的な空間となっている。湿原へのアプローチは容易ではないが、植物研究者や登山者などに親しまれている。

見頃・ポイント 5月中旬、町指定天然記念物

行き方 車:「滑川IC」、「立山IC」から約40分、白岩川上流

37

あしくらおやまじんじゃけいだりりん

## 芦嶮雄山神社境内林



所在地 中新川郡立山町芦嶮寺

分類 (1) 植物

概要 芦嶮寺は、常願寺川上流の右岸の河岸段丘上に中世から山岳信仰の拠点として栄えた集落である。近世には立山登拝の宿坊が軒を並べ、大いに賑わった。集落のほぼ中央部に雄山神社仲宮祈願殿があり、境内には幹周り6mを測るスギの巨木など、樹齢5百年程の古木が多数、生育している。昼でもなお暗くうっそうと生い茂るスギ林は、荘厳な雰囲気を漂わせて、神聖な空間を演出している。

見頃・ポイント 春～秋、映画「劔岳 点の記」、県指定天然記念物

行き方 車:「立山IC」から約30分、富山県[立山博物館]隣



38

きょうさんぼうのていえん

## 教算坊の庭園



所在地 中新川郡立山町芦嶮寺

分類 (3) 庭園

概要 中世から山岳信仰の拠点として栄えた芦嶮寺の集落のほぼ中央部に、教算坊という江戸時代の宿坊が存在する。昭和初期に建物と一体的に整備された庭園は、立山スギの木立の中に庭石や池が配置され、苔と野草によって、緑色の絨毯が敷かれたようである。池泉回遊式とされ、山石や谷石が豊富に用いられている。立山の深山を表現するかのような景観であり、見学者が絶えない。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:「立山IC」から約30分、富山県[立山博物館]隣



39

びじょだいらとぶなざか

## 美女平とブナ坂



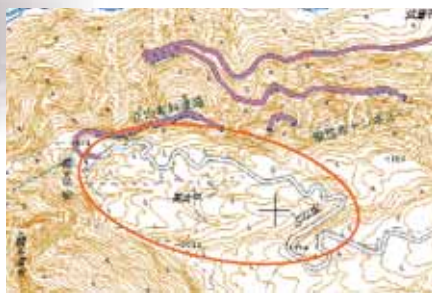
所在地 中新川郡立山町芦峯寺

分類 (1)植物・動物 (2)山岳

概要 立山の火山活動によって形成された弥陀ヶ原溶岩台地の下部が美女平であり、標高は約1,000mである。スギとブナの原生林が広がり、巨大な樹木が生育している。春の新緑、秋の紅葉と彩りの変化が見事で、また、称名滝を望む滝見台や西側の斜面に広がる材木坂など散策の見どころが多い。森林浴や探鳥のために散策路などが整備され、全国から多くの人々が訪れている。

見頃・ポイント 7月～10月

行き方 立山黒部アルペンルートの立山ケーブル「美女平駅」下車



40

あくしろのかべ

## 悪城の壁



所在地 中新川郡立山町芦峯寺

分類 (2)山岳

概要 弥陀ヶ原から常願寺川に流れ込む称名川は、その左岸で大岩壁を形成している。延長は2km、高さは500mの巨大な垂直の岩壁であり、立山火山の噴火で流れ出した溶結凝灰岩が、雪崩などによって侵食された特異な地形とされている。岩壁は2段構造となっており、「悪城の2階」とも呼称されている。延々と延びる褐色の岩肌は圧迫感があり、険悪な形相から名付けられたと考えられている。

見頃・ポイント 5月～11月(冬期閉鎖)、県指定史跡名勝天然記念物

行き方 「立山IC」から30分、県道富山立山公園線展望台駐車場あり



41

しょうみょうだき

## 称名滝



所在地 中新川郡立山町芦峯寺

分類 (2)滝

概要 弥陀ヶ原から溶岩台地を侵食して一気に流れ落ちる称名滝は、日本一の落差350mで、4段の滝で構成されている。国指定の名勝・天然記念物となっている。雪解け水の多い春季には向かって右側にハンノキ滝というもう1本の滝が現れる。轟音とともに流れ落ちる大滝の景観は圧巻であり、周囲のブナ等の原生林は春には鮮やかな新緑が、秋には艶やかな紅葉に染まる。道路も整備されており、通年をとおして多くの登山者や観光客で賑わう。

見頃・ポイント 5月～11月(冬期閉鎖)、国指定名勝天然記念物

行き方 「立山IC」から30分、県道富山立山公園線 称名平駐車場から徒歩30分



## ちよつと コラム 1

### 「名勝(名勝地)」って何だろう？

名勝(名勝地)とは、「優れた景観地」のことです。

『広辞苑』では「名勝」について、次のように記述されています。

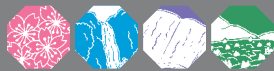
「景色のすぐれた地。勝地。」

文化財では、峡谷や山岳などの「自然の景観」と公園や庭園などの「人工の景観」の二つに分けて考えています。前者を「自然的景観」、後者を「人文的景観」と表現します。

文化財保護法上では、優れた景観地全般を「名勝地」と表現し、指定文化財になったものを「名勝」と表現しています。

今回の「とやま文化財百選」では、富山県を代表する優れた景観地、文学・芸術作品に登場するもの、地域の方々に親しまれているものなど、幅広く「名勝」として取り上げました。

富山県は豊かな自然に恵まれ、優れた景観地が豊富にあります。この冊子をきっかけに、身近な名勝を再発見してみてください。



**所在地** 中新川郡立山町芦峯寺

**分類** (1)植物・動物 (2)山岳 (4)文学・芸術作品  
(5)展望地点

**概要** 弥陀ヶ原は立山連峰の主峰・雄山の麓から称名川の左岸に沿って広がる広大な溶岩台地である。標高は1,600mから2,000m程で、冬季には積雪6m程の雪原となり、夏季には多種多様な高山植物が咲き乱れる。秋季には暖色の錦秋に染まる。「餓鬼の田」と呼ばれる池塘を縫うかのように歩道が整備され、全国からの多くのハイカーで賑わう。称名廊下は幼年期のV字峡であり、ソーメン滝など多くの滝がみられる。

**見頃・ポイント** 7月～10月、県指定史跡名勝天然記念物

**行き方** 富山地铁「立山駅」から立山黒部アルペンルート、高原バス「弥陀ヶ原」下車



(立山町教育委員会提供)



ミクリガ池



地獄谷



(立山町教育委員会提供)

## 43 むろどうだら 室堂平



**所在地** 中新川郡立山町芦峯寺

**分類** (1) 植物・動物 (2) 山岳 (4) 文学・芸術作品  
(5) 展望地点

**概要** 立山の火山活動によって形成された弥陀ヶ原溶岩台地の上部が室堂平と呼ばれ、立山登山の拠点として賑わう。一帯は森林限界のハイマツ帯で、ライチョウの生息地となり、タテヤマリンドウやチングルマなどの高山植物が咲き乱れる。火口湖であるミクリガ池や火山性ガスが噴出している地獄谷など、日本を代表する高山地形となっている。古くから立山地獄として文学作品に取り上げられ、多くの参詣者や登山者が訪れている。

**見頃・ポイント** 7月～10月、「今昔物語」<sup>こんじゃくものがたり</sup>、「善知鳥」<sup>うとう</sup>(能)

**行き方** 富山地鉄「立山駅」から立山黒部アルペンルート、高原バス「室堂」下車



44

このまつばら

## 古志の松原



所在地 富山市岩瀬浜 ほか

分類 (1)植物(5)展望地点

概要 富山湾に面する砂浜海岸で、白砂に青松という美しい景観が、東西に約5kmに渡って延びている。南側には北アルプスの山々の雄姿を遠望することができ、立山連峰の眺望地点のひとつでもある。海岸に沿って走る県道の脇には、江戸時代初期の慶長6年(1601)に加賀藩2代藩主の前田利長公によって植えられた松並木がわずかながら現存し、往時の参勤交代や人々の旅姿を偲ぶことができる歴史的な景観も維持されている。

見頃・ポイント 通年、県指定天然記念物

行き方 最寄駅:富山ライトレール「岩瀬浜駅」、車:国道8号「豊田東」交差点から約10分



(富山市教育委員会提供)



(富山市教育委員会提供)

45

ばばきねんこうえん

## 馬場記念公園



所在地 富山市蓮町

分類 (1)植物(3)公園(4)文学

概要 旧制富山高校の跡地を活用して昭和46年(1971)に都市公園として整備された庭園で、創立に大きな貢献のあった馬場はる刀自を称えて命名された公園である。園内の南日梅林は、初代校長・南日恒太郎を讃えて植樹されたもので、県内でも周知の梅林観賞地である。また、現在、富山大学が所蔵する小泉八雲の蔵書「ヘルン文庫」は、長らくこの敷地内の建物で大切に保管され、文庫跡の石碑が園内に据えられている。

見頃・ポイント 通年、ウメ:3月下旬

行き方 富山ライトレール「蓮町駅」下車すぐ  
車:国道8号「豊田東」交差点から約10分



46

くれはやまのなしばたけいかん

## 呉羽山の梨畑景観



- 所在地** 富山市呉羽、吉作
- 分類** (1) 植物 (3) 農業景観等
- 概要** 富山平野のほぼ中央で南北に横たわる呉羽山丘陵の西側には、緩やかな斜面が伸び、「呉羽梨」として名が知られる梨畑が広がっている。4月中旬から5月初旬にかけて一斉に花が咲き、大きな白い絨毯が敷かれたような美しい景観となる。この梨は、明治40年(1907)に「長十郎」の品種の試作を端緒とし、昭和30年代に「幸水」の品種が導入されてから、全国屈指の梨の産地として知られるようになった。
- 見頃・ポイント** ナシ花:4月下旬～5月初旬、ナシ:6月下旬～9月
- 行き方** 車:「富山西IC」から呉羽・吉作方面、約10分 ※個人の果樹園のため、車の進入はご注意ください。駐車場はありません。



47

くれはやまとそのちようぼう

## 呉羽山とその眺望



- 所在地** 富山市安養坊ほか
- 分類** (1) 植物・動物 (3) 公園 (4) 文学 (5) 展望地点
- 概要** 富山平野のほぼ中央部に南北に広がる呉羽山丘陵は、昭和14年(1939)に都市公園となり、都市近郊の豊かな自然環境として人々に親しまれている。呉羽山公園展望台からの北アルプスの遠望はひととき見事であり、「立山あおぐ特等席」として、立山連峰の眺望地点となっている。四季の草花や花木などが里山として保護され、また、万葉集など文学ゆかりの歌碑なども据えられ、多くの散策者で賑わっている。
- 見頃・ポイント** 通年、映画「レイルウェイズ2」
- 行き方** 富山地铁バス「呉羽山公園前」、「民俗民芸村」下車徒歩30分(展望台まで)



48

まつかわといちがわのさくらなみき

## 松川といたち川の桜並木



## 48-1 松川と桜並木

所在地 富山市磯部町 ほか

分類 (1)植物(3)公園

概要 富山市の中心部を流れる松川は、かつての神通川であり、明治時代から昭和時代にかけて実施された富山都市計画事業で整備された河川である。桜並木は大正時代に磯部地区に市民の憩いの場として植えられ、昭和25年頃から市民によって順次、植栽が進められた。現在では、桜の開花の季節には松川を遊覧船が観光遊覧するなど、富山県の代表的な桜並木として親しまれている。

見頃・ポイント 通年、サクラ:4月上旬～中旬、映画「レイルウェイズ2」

行き方 最寄駅:JR「富山駅」から徒歩10分、市電「県庁前」電停から徒歩5分



(富山市教育委員会提供)

48

まつかわといちがわのさくらなみき

## 松川といたち川の桜並木



## 48-2 いたち川と桜並木

所在地 富山市清水町 ほか

分類 (1)植物(3)公園

概要 富山平野のほぼ中央を北流するいたち川は、小説『螢川』（宮本輝）の舞台としても知られている。松川との合流地点から兩岸に上流に向かって、約2kmに渡る市民の手によって植えられた桜並木が続いている。石倉町には、常願寺川扇状地の伏流水が自噴している湧水があり、安政年間の大地震の被災を供養する延命地藏尊が安置されている。桜と水場の潤いの場は、多くの散策者に親しまれている。

見頃・ポイント 通年、サクラ:4月上旬～中旬、小説『螢川』

行き方 市電「桜橋」電停から徒歩約10分

49

とやまじょうしこうえん

## 富山城址公園



所在地 富山市本丸

分類 (1)植物(3)公園(4)音楽

概要 富山平野のほぼ中央に位置する富山城址公園は、戦国時代には佐々成政の、江戸時代には前田家(富山)の居城であった。現在は、往時の石垣と堀が残されており、天守は、昭和29年(1954)開催の富山産業大博覧会のシンボルとして再建されたものである。園内には桜などの種々の樹木が生育し、市民の憩いの場となっている。また、明治時代に富山に住まいした滝廉太郎が、名曲「荒城の月」を作曲する着想の元となった城とも言われている。

見頃・ポイント 通年、サクラ:4月上旬～中旬

行き方 最寄駅:地鉄バス「城址公園前」、市電「丸の内」、車:国道41号「城址公園前」交差点すぐ



50

たじりいけはくちょうひらいち

## 田尻池ハクチョウ飛来地



所在地 富山市池多

分類 (1)動物(3)公園

概要 田尻池は富山平野のほぼ中央部に広がる射水丘陵にある農業用のため池で、県内でも屈指のハクチョウの飛来地として知られている。冬になると、群れをなしたオオクチョウやコハクチョウが飛来し、カモなど多くの鳥類も生息し、水鳥の憩う湖沼景観としてのどかな風景を呈している。オオハクチョウが北に旅立つ3月中旬まで、富山県の代表的な冬の風物詩として人々に親しまれている。

見頃・ポイント ハクチョウ:11月～3月中旬

行き方 車:「富山西IC」から約5分



51

じけこうえん

## 寺家公園



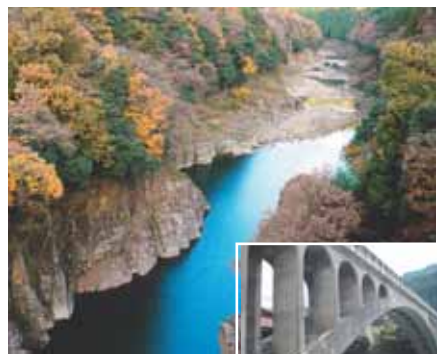
所在地 富山市寺家

分類 (1)植物(3)公園

概要 地元出身で京都の医師だった加藤幸次郎氏によって、昭和5年(1930)に造成された公園である。京都の嵐山に模して造られたとされ、自然の森の中を歩いているかのように植林され、桜も点々とバランスよく植えられている。園内にはアカガシの群生林のほか、姉倉比売神社、帝龍寺などの建造物が配置され、自然豊かな散策地として地域の人々に親しまれている。

見頃・ポイント 通年、紅葉:10月下旬～11月上旬、県指定天然記念物

行き方 最寄駅:JR高山本線「笹津駅」、車:「富山IC」から約40分



(県フォトライブラリーより)



52

ささづばしとじんづうきょう

## 笹津橋と神通峡



所在地 富山市笹津、庵谷 ほか

分類 (3)峡谷(5)展望地点

概要 飛騨山地から富山平野に北流する神通川の中流域山間地の峡谷は、神通峡と呼ばれ、県定公園に指定されている。急峻な断崖とウラジロガシの天然林やコナラなどの樹林が美しい峡谷美を形成している。笹津橋は神通川に昭和16年(1941)に架けられた鉄骨鉄筋コンクリートのアーチ橋で、しなやかなアーチと自然に調和するデザインが美しい。登録有形文化財として保護され、住民に親しまれている。

見頃・ポイント 通年、紅葉:10月下旬～11月上旬

行き方 最寄駅:JR高山本線「笹津駅」、車:「富山IC」から約30分(笹津まで)、国道41号沿い

53

じょうさいようすいととのさまばやし

## 常西用水と殿様林

所在地 富山市上滝 かみだき ほか

分類 (1)植物 (3)公園

概要 常願寺川で形成された扇状地の頂部に位置する上滝地内には、農業用の常西合口用水が設けられ、これに沿って整備された遊歩道沿いには100本を越える桜並木が長大なトンネルのような景観を誇っている。また、その下流には、明和6年(1769)に富山藩主の前田利興公によって、水防林として植林された松林が「殿様林」と呼ばれ、地域の人々の散策コースとして親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、サクラ:4月上旬～中旬

行き方 最寄駅:富山地铁「上滝駅」から徒歩約5分、車:「富山IC」から約20分



54

ありみねのしぜんけいかん

## 有峰の自然景観



所在地 富山市有峰

分類 (1)植物 (2)山岳 (3)公園 (4)芸術作品

概要 名峰・薬師岳の麓に横たわる有峰湖とその周囲に広がる緩やかな山岳地域で、約1,600haの自然公園である。湖の周囲は盆地上に広大な樹林が広がり、とりわけ南西側にはシラカバの純林が生育している。稜線の植生はネズコ、コマツガなどの針葉樹林が、やや低い山腹にはミズナラなどの落葉広葉樹林が見られる。鳥類、獣類、魚類など動物相も種類が多い。春から秋にかけて多くの登山者が訪れる景勝地である。

見頃・ポイント 7月～10月(冬期閉鎖)、紅葉:10月上旬～下旬

行き方 車:県道富山上滝立山線から有峰林道



55

ふかだにのしっせいしよくぶつぐん

## 深谷の湿性植物群



所在地 富山市八尾町深谷

分類 (1)植物(2)湿原

概要 富山県のほぼ中央部の標高120m程の丘陵地帯で、南東斜面に広がる湧水地にオオミズゴケ、モウセンゴケ、サギソウなどの湿性の植物群落が生育している。北方系と南方系の植物が混生することや地下水が粘土層に沿って山腹から流出するなど、学術的にも価値の高い湿地である。富山県の自然環境保護地域として保全されるとともに、潤いのある植生空間として人々に親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、市指定天然記念物

行き方 国道472号「石戸」交差点から約20分、「八尾CC」近く



(富山市教育委員会提供)



56

じょうがやまこうえんとそのちょうぼう

## 城ヶ山公園とその眺望



所在地 富山市八尾町諏訪町

分類 (1)植物(3)公園(5)展望地点

概要 富山平野のほぼ中央部の丘陵地帯に所在し、南北朝時代に武将が城を構えたことから、城ヶ山と呼ばれるようになった。樹林は春に桜、秋に紅葉、冬に寒椿とその容姿を変化させ、四季を通じて人々に親しまれている。また、東部には立山連峰を、北部には富山平野や呉羽山丘陵を眺望することができる。園内には偉人の銅像や歌碑などが自然景観に溶け込むように配置され、人々の憩いの場として親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、市指定史跡

行き方 最寄駅:JR高山本線「越中八尾駅」、車:国道472号「石戸」交差点から八尾市街地方面約5分



57

みのりのたなだ

## 三乗の棚田



所在地 富山市八尾町下乗嶺、乗嶺、高峯、新名

分類 (3) 農業景観等

概要 富山平野のほぼ中央部の丘陵地帯を流れる野積川の山腹に広がる棚田である。山腹の樹林と点在する農村集落の調和は、日本の原風景のひとつとして、平成11年に日本の棚田百選に選定された。地区では「みのり棚田の学校」と称して田植え実習、稲刈り実習といった農作業体験やホテル鑑賞会などのカリキュラムが生まれ、農村と都市部の住民の交流が図られている。

見頃ポイント 5月上旬～10月上旬

行き方 車:国道472号で八尾市街地を南下



(富山市教育委員会提供)

58

こいなみのみずばしょうけいかん

## 小井波のミズバショウ景観



所在地 富山市八尾町小井波

分類 (1) 植物 (2) 湿原

概要 富山県の南部の山岳地帯で標高が470mという比較的低位にミズバショウが群生している。5、6月頃の雪解けとともに、純白の花が一斉に開花し、周囲の山間と樹林と見事なコントラストを演出する。ミズバショウは幅30m、長さ60mの範囲に広がり、整備された木道は、ハイキングを楽しむ人々で賑わう。また、地域のボランティアにより、ミズバショウの増殖も試みられている。

見頃ポイント 5月～6月、市指定天然記念物

行き方 国道472号から「別荘川」上流、小井波地区

59

ふちゅうふるさとしぜんこうえんとそのちようぼう

婦中ふるさと自然公園とその眺望

所在地 富山市婦中町羽根 はね ほか

分類 (1)植物・動物(3)公園(5)展望地点

概要 富山平野のほぼ中央部に横たわる呉羽山丘陵の南部に広がる自然公園で、一年を通じて豊かな自然に触れることができる。園内には、「勅使塚古墳」や「王塚古墳」といった遺跡が分布し、富山県の歴史の一端に触れることもできる。また、東側に立山連峰を、北東側に富山平野のパノラマを遠望することができ、展望地点としても知られている。各願寺では、毎年4月には「曲水の宴」が催され、風流を楽しむ庭園として親しまれている。

見頃・ポイント 通年、サクラ:4月上旬～中旬、ハナシヨウブ:6月上旬～中旬

行き方 車:国道359号「長沢」交差点から長沢、羽根地区周辺



60

うしだけのけいかん

牛岳の景観



所在地 富山市山田村、砺波市、南砺市

分類 (2)山岳

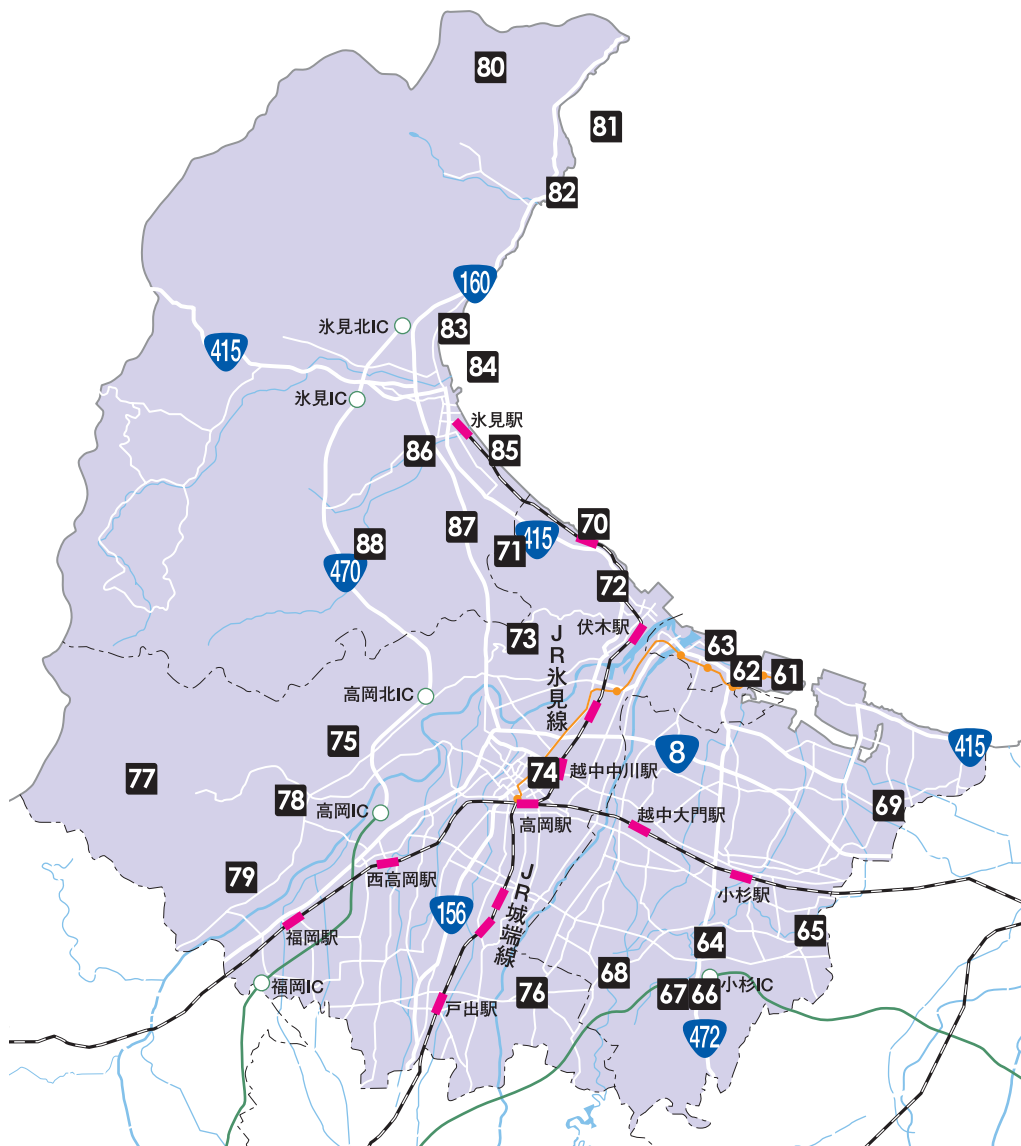
概要 富山平野のほぼ中央の西側にゆったりと横たわる牛岳は標高987mを測る。とりわけ西側の砺波平野からは、名が示すような大きな牛が横たわる姿の眺望となる。山頂の牛嶽神社は農業や生活の水源神としての性格を持ち、山岳信仰の山として古代に開山された。県民の身近な山岳景観として親しまれており、牛岳自然の森として登山道、遊歩道の整備がなされ、アウトドアや自然観察などを楽しむことができる。

見頃・ポイント 通年

行き方 車:県道富山庄川線から県道山田湯谷線で「牛岳温泉スキー場」方面

# 高岡地区

高岡市、射水市、氷見市





61

はまおうらいのまつなみき

## 浜往来の松並木



**所在地** いみずし なご 射水市の奈呉の浦一帯の海岸

**分類** (1)植物 (4)文学 (5)展望地点

**概要** 庄川の右岸から放生津潟にかけての海岸は古くから奈呉の浦と呼ばれ、大伴家持もこの景観を詠んでいる。江戸時代には浜往来と呼ばれ、物資の輸送に重要な役割を果たした。街道の脇には松が植樹され、海からの風除けとして、旅人の休憩所としても機能した。元禄年間には松尾芭蕉が「奥の細道」で旅した街道とも考えられ、道端の地蔵群とともに往時の風情を偲ばせている。

**見頃・ポイント** 通年

**行き方** 最寄駅:万葉線「東新湊」、車:国道8号「鏡宮」  
交差点から約20分



(射水市教育委員会提供)



(射水市教育委員会提供)

62

ほうじょうつうちかわのけいかん

## 放生津内川の景観



**所在地** 射水市の放生津内川周辺

**分類** (2)河川 (5)展望地点

**概要** 富山湾に併行して流れる内川は、庄川と放生津潟を結ぶ内陸河川で、新湊市街を西流している。江戸時代から物資の舟運に賑わい、両岸には北前船の廻船問屋が軒を並べた。運河としての機能は現在も維持されており、小型漁船等が連なって係留される景観は珍しい。「日本のベニス」とも称され、内川越しに立山連峰が遠望でき、兩岸を繋ぐいくつもの橋を巡る散策コースは住民や観光客に親しまれている。

**見頃・ポイント** 通年、サクラ:4月上旬～中旬

**行き方** 最寄駅:万葉線「中新湊」、車:国道8号「鏡宮」  
交差点から約20分

63

せんねんじのけいだい

## 専念寺の境内



所在地 射水市本町

分類 (1)植物 (3)庭園

概要 江戸時代からは北前船の寄港地として繁栄した商人町にある専念寺は、浄土真宗の古刹である。白壁の本堂の前に設けられた境内には、枝張りの大きさが16mもの地上を這うかのように剪定された松が広がっている。地域の人々によって傘松と呼ばれ、親しまれてきた。約300年前の享保年間に一人の旅僧によって植えられたものと伝承されており、突然変異の品種は学術的にも貴重なものである。

見頃・ポイント 通年、県指定天然記念物

行き方 最寄駅:万葉線「新町口」、車:国道8号「鏡宮」  
交差点から約20分



(射水市教育委員会提供)



(射水市教育委員会提供)

64

かぶとやまこうえん

## 兜山公園



所在地 射水市黒河新

分類 (1)植物 (3)公園

概要 射水丘陵の北端に位置する独立丘陵が兜山公園である。元々は射水丘陵の南端の尾根であったが、明治時代から昭和にかけての土砂採取により、現在の形状となった。昭和15年(1940)に旧小杉町内の全戸から寄付を得て、約500本のサクラが植えられ、同時に相撲場や展望台なども整備され、兜山公園と呼ばれるようになった。住民に身近な憩いの場として親しまれている。

見頃・ポイント 通年、市指定名勝

行き方 車:「小杉IC」から射水市役所小杉庁舎方面右折、約10分

65

くろかわ・つかごしのちくりん

## 黒河・塚越の竹林



所在地 射水市黒河、塚越

分類 (1)植物 (3)農業景観等

概要 射水丘陵の北端に広がる緩やかな里山では、約150年前に植えられたと言われる広大な竹林が生育している。土壌が黒土であることから、春にはタケノコが多く生え、富山県の代表的農産品となっている。約200戸の農家が約30haで栽培している。沿道には販売店が軒を並べ、春の風物詩として多くの購入者で賑わいを呈する。近接する呉羽山は、モモやナシの特産地としても知られる。

見頃・ポイント 通年

行き方 車:「富山西IC」から約10分、黒河・塚越方面



(射水市教育委員会提供)



(射水市教育委員会提供)

66

やくしょうじいけ

## 薬勝寺池



所在地 いみずしなかたいこうやま 射水市中太閤山

分類 (2)ため池 (3)公園

概要 富山平野のほぼ中央部に横たわる射水丘陵の南側の里山に、約500年前に設けられたと伝えられる灌漑用の溜池で、周囲を遊歩道が巡り、一部には湿地植物が生育する。釣り場も設けられて散策に訪れる人が多い。周囲はスギやアカマツなどの樹林で囲まれ、春にはヤマザクラやコブシの花が水面に美しく映える。「とやまの名水」、「とやま森林浴の森」に選定され、住宅地に近い身近な公園として多くの人々に親しまれている。

見頃・ポイント 通年

行き方 車:「小杉IC」から約5分



67

きょうがくさん

## 経嶽山



所在地 射水市青井谷

分類 (2) 山岳

概要 富山平野のほぼ中央部に横たわる射水丘陵の南側の麓に位置する経嶽山は、標高60mあまりの小山であるが、頂上からは東側に立山連峰が、南側に射水丘陵の峰々が、北側には富山湾が遠望できる。麓には周囲をうっそうとした樹木に覆われた曹洞宗の寺院があり、江戸時代に讃岐から勧請された金比羅宮も鎮座する。住民の憩いの場でありながらも、歴史的な景観が維持されている。

見頃・ポイント 通年、市指定名勝

行き方 車:「小杉IC」から青井谷方面、「金山小学校」前を右折



(射水市教育委員会提供)



(射水市教育委員会提供)

68

くしだしんいせきからのちょうぼう

## 串田新遺跡からの眺望



所在地 射水市串田新

分類 (5) 展望地点

概要 射水丘陵の西端で、庄川の河岸段丘に位置する串田新遺跡は、縄文時代から古墳時代にかけての集落が存在した国指定の史跡となっている。史跡公園として環境整備された広大な芝生広場で、歴史的な空間が保存されており、憩いの広場として地域の人々に親しまれている。この遺跡は大沢山とよばれる標高45mの独立丘陵であり、西部に広がる砺波平野と庄川を一望することができる。遙かには二上山も遠望できる絶好の眺望地点である。

見頃・ポイント 春～秋、国指定史跡

行き方 車:「小杉IC」から県道高岡小杉線の「生源寺」交差点左折、約5分

69

しもむらかもじんじやのさんどう

## 下村加茂神社の参道



所在地 射水市加茂中部

分類 (1) 植物

概要 広大な水田が広がる射水平野のほぼ中央部に、11世紀に創建された下村加茂神社が所在する。古くから継承されるいくつかの年中行事があり、正月の「鯛分け神事」、5月の「やんさんま」、6月の「御田植祭」、9月の「稚児舞」などは多くの人々で賑わう。拝殿まで真っ直ぐ伸びる約100mの参道の両脇は、スギなどの古木がうっそうと生い茂り、流鏝馬の際に馬が駆け抜ける馬場でもあり、おごそかで落ち着いた景観が維持されている。

見頃・ポイント 通年、国指定重要無形民俗文化財、県指定無形民俗文化財

行き方 車:国道8号「本郷西」交差点から約15分



(射水市教育委員会提供)



70

あまばらしかいがんとそのちやうぼう

## 雨晴海岸とその眺望



所在地 高岡市雨晴

分類 (2) 海浜 (4) 文学 (5) 展望地点

概要 富山県の北西部の海岸で、源義経一行の奥州下向の際、義経岩と言われる岩陰で雨宿りしたという伝承から雨晴海岸と呼ばれている。白い砂浜から雌岩・雄岩を挟み、富山湾越しに3000mの立山連峰の雄姿を遠望することができる県内屈指の眺望地点である。大伴家持もこの景観に感歎し、「洪谿」という当時の地名や波浪の様子などを詠った秀歌を残している。「能登半島国定公園」や「日本の渚百選」などに選ばれている。

見頃・ポイント 通年、日の出の様子が見事、冬には「気嵐」と呼ばれる自然現象が見られる。

行き方 最寄駅:JR氷見線「雨晴駅」、車:国道8号線から国道415号で氷見方面

71

こくたいじのせきてい

## 国泰寺の石庭



所在地 高岡市西田

分類 (3)庭園

概要 二上山の北西側の麓に所在する古刹・国泰寺は、座禅の修行道場として広く知られている。境内には「月泉庭」と呼ばれる石庭が設けられ、巨大な砂岩の岩が据えられている。寺院は、勅使門、総門、三門、法堂、大方丈、中門、三十の塔、天皇殿、茶室などの伽藍で構成され、重厚で荘厳な雰囲気醸し出されている。6月の開山忌では、虚無僧の尺八と読経の大合奏が響き渡り、季節の風物詩となっている。

見頃・ポイント 春～秋、事前の連絡が必要

行き方 車:国道160号「上田子」交差点から約10分



(高岡市万葉歴史博物館提供)

72

けたじんじゃしゅうへんのかたくりぐんせいち

## 氣多神社周辺のカタクリ群生地



所在地 高岡市伏木一宮

分類 (1)植物(4)文学

概要 二上山丘陵の北東部の山腹に、8世紀に越中一の宮として能登から遷移されたと伝えられる氣多神社が所在する。うっそうとした杉や落葉広葉樹の樹林に覆われて、16世紀に建てられた国指定重要文化財の柿葺きの社殿が鎮座している。境内には、大伴家持の歌にちなんだカタクリの花が群生し、春の風物詩として多くの人々が訪れている。可憐な桃色の花群と神社の荘厳な容姿が相まって、歴史的な空間を形成している。

見頃・ポイント カタクリ:4月上旬、『万葉集』、周辺施設「高岡市万葉歴史館」

行き方 車:国道415号「神社口」から約5分





**所在地** 高岡市二上山

**分類** (1)植物・動物(2)山岳(3)公園(4)文学  
(5)展望地点

**概要** 小矢部川の左岸で富山湾に向かって横たわる穏やかな丘陵で、ふたつの山頂があることから二上山と呼ばれている。峰々からは立山連峰、富山平野、富山湾、能登半島とすべての方位に眺望がきき、展望地点としても親しまれている。大伴家持は二上山の容姿や花鳥などを多くの歌に詠み、神の住まいする山として敬った。春の桜、夏の緑樹、秋の紅葉、冬の白銀と四季の鮮やかな変化を楽しむことができ、ハイキング等で賑わっている。

**見頃・ポイント** 通年

**行き方** 車:能越道「高岡北IC」から国道160号方面、「西海老坂」交差点から「万葉ライン」



**所在地** 高岡市古城<sup>こじょう</sup>

**分類** (1)植物・動物(3)公園

**概要** 富山平野の西部に位置し、千保川右岸丘陵上に設けられた城址である。慶長14年(1609)に加賀藩2代藩主の前田利長が築城した平城で、一国一城令によって廃城されるが、五つの曲輪や広大な水堀、土塁は当初の形態が崩されことなく現在まで保存されている。園内には「越の彼岸桜」の古木が植林され、夏の鮮やかな緑、秋の艶やかな紅葉、冬の白銀と四季を通して彩りに変化が見られ、人々の憩いの場として親しまれている。

**見頃・ポイント** 通年、サクラ:4月上旬～中旬、県指定史跡

**行き方** 最寄駅:JR「高岡駅」、車:国道8号から県道富山高岡線方面

75

すいどうつつじこうえん

## 水道つつじ公園



所在地 高岡市笹八口

分類 (1)植物

概要 県の北西部に広がる西山丘陵の麓に設けられた高岡市国吉配水場の周囲が公園として整備され、季節にはつつじ類や桜が咲き誇る花木の名所である。園内には、クリシマやサツキなどのつつじ類15,000本、桜200本が植えられ、満開時の景観は、美しい織物に例えられ賞美されている。近年ではカタカゴが植栽され、さらに夜間照明の工夫が図られるなど、「とやま花の名所」のひとつとして普及啓発が進められている。

見頃・ポイント 春～秋、サクラ:4月上旬～中旬、ツツジ:5月

行き方 車:「高岡IC」から県道高岡羽咋線方面、約20分



(高岡市教育委員会提供)



(ホタル:高岡市教育委員会提供)

76

なかだのほたるとうのせいそくち

## 中田のホタル等の生息地



所在地 高岡市中田

分類 (1)動物

概要 砺波平野を北流する庄川中流の右岸に位置する中田地区は、清らかで豊富な湧水に恵まれ、「ホタルの里」として多くの人々に知られている。トミヨ、ゲンジボタル、ヘイケボタルなどの貴重な生物が生息し、6月下旬にホタル観賞会や生態系の保全活動などが、地区の住民や中田中学校の生徒などによって進められている。『万葉集』に残されているアシツキも繁茂している県内でも数少ない地域のひとつでもある。

見頃・ポイント 通年、ホタル:6月下旬、県指定天然記念物

行き方 車:県道富山戸出小矢部線沿い庄川右岸、「中田橋」たもと

77

ごいのたきのさわ

## 五位の滝の沢



所在地 高岡市福岡町五位

分類 (2) 滝

概要 能登半島の付け根に横たわる宝達丘陵を縫うように流れる子撫川にある小滝である。川の水の浸食によって、柔らかな泥質部分が侵食され、固い岩石層が連続する板状に残された地層で、清水とともに美しい渓谷美を形成している。滝の落差は2mで、岸辺の樹木景観と相まって清涼感を漂わせている。周囲は「ほたるの里」としても知られており、地域の方々の憩いの場として親しまれている。

見頃・ポイント 夏期、市指定名勝

行き方 車：能越道「高岡IC」から石川県宝達山方面約30分、「とやま・ふくおか家族旅行村」近く



(高岡市教育委員会提供)



(高岡市教育委員会提供)

78

あかまるあさいじんじゃのすぎなみきとけいだりん

## 赤丸浅井神社の杉並木と境内林



所在地 高岡市福岡町赤丸

分類 (1) 植物

概要 県の北西部に広がる西山丘陵の麓に位置する赤丸浅井神社の参道は、約200mの杉並木となっている。古木の杉は枯損したものの、二世目目の杉が往時の落ち着いた荘厳な雰囲気醸し出している。境内には、多くのケヤキの古木が生育し、歴史的な景観を維持している。最も大きなものは1,200年以上の老木と考えられており、県指定天然記念物となっている。古木と社殿が調和した荘厳な景観が、地域の人々に親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、県・市指定天然記念物

行き方 車：能越道「高岡IC」から県道小矢部伏木港線方面約20分



79

ふくおかのすげだ

## 福岡の菅田



所在地 高岡市福岡町

分類 (3) 農業景観等

概要 砺波平野の西端を北流する小矢部川の福岡町内の左岸では、江戸時代から菅笠の全国的な生産地として栄えた。河川の氾濫原として沼地が多く、菅の自生に適していたためと考えられている。9月下旬に一面の菅田に苗が植え付けられ、翌年7月下旬に刈取られた後、野天で天日に干される。田んぼに笠状に広げられた菅の景観は、季節の風物詩となっている。笠を生産する技術は、国指定の無形民俗文化財に指定され、継承が図られている。

見頃・ポイント 7月末の晴天日、国指定重要無形民俗文化財

行き方 車：能越道「福岡IC」から小矢部川方面、向田地区ほか



(氷見市提供)

80

ながさかのたなだ

## 長坂の棚田

所在地 ひみしながさか  
氷見市長坂

分類 (3) 農業景観等 (5) 展望地点

概要 長坂集落は、石動山東麓の穏やかな山腹に位置し、富山湾に向かって階段状の棚田が続く。棚田は約150枚を数え、平成11年に「日本の棚田100選」に選定された。春には水の張られた田んぼが陽光に映え、秋には黄金色の絨毯が風に揺れる景観は、日本の典型的な農業景観である。近年、地区住民は、棚田オーナー制度を設けて、田植えや稲刈り体験を行っている。富山湾越しの立山連峰の眺望も見ごたえがある。

見頃・ポイント 5月～9月

行き方 車：国道160号「海峰小口」交差点から約20分

81

あぶがしま

# 虻が島



所在地 氷見市すかた姿

分類 (1)植物・動物(2)島嶼(5)展望地点

概要 氷見市の中田海岸から沖1.8kmの富山湾に浮かぶ富山県で最も大きな島である。男島と女島の2島からなり、長さ180m、幅20mを測る県内では珍しい島嶼地形である。南方系と北方系の植物が見られ、植物学的にも貴重な島である。島からは南東側に富山湾越しの立山連峰を、南側に二上山を、西側に宝達山を眺望することができる。

見頃・ポイント 通年、県指定名勝天然記念物

行き方 車:国道160号「灘浦海岸」方面



(右:氷見市教育委員会提供)

82

ひみおきのていちあみのけいかん

# 氷見沖の定置網の景観



所在地 氷見市こぎかい小境海岸 ほか

分類 (1)動物(3)農業景観等

概要 1,000mの深度を持つ富山湾では海面近くまで深海の冷水が上昇し、とりわけ氷見沖では沖合まで浅い海が広がっており、天正年間に初源を持つ「越中式定置網」とも呼ばれる定置網漁法が行われている。海域にあわせた大小様々な形の定置網が海中に設けられ、上空から見た景観はあたかもナスカの地上絵を思わせるような幻想的な景観を呈する。水揚げの魚類としては、春のイワシ、夏のマグロ、冬のブリなどが全国的に知られている。

見頃・ポイント 通年

行き方 車:国道160号から「大境」方面、国史跡「大境洞窟住居跡」

83

あおのうら

## 阿尾の浦



所在地 氷見市阿尾

分類 (2) 海浜 (4) 文学 (5) 展望地点

概要 能登半島の付け根に位置し、富山湾に断崖絶壁が突き出したかのような小さな半島地形となっている。タブノキなど暖かい地域に生える樹木がうっそうと茂る。遊歩道が整備され、古社や富山湾の展望地点などを散策することができる。中世には菊池氏の居城が設けられ、古代には大伴家持が「英遠の浦」としてこの地を詠んでいる。快晴の日には、富山湾越しの立山連峰を遠望できる格好の眺望地点である。

見頃・ポイント 通年、『万葉集』、県指定史跡

行き方 車:国道160号「阿尾」交差点から富山湾方面約5分



84

からしま

## 唐島



所在地 氷見市中央町

分類 (1) 植物・動物 (2) 島嶼 (5) 展望地点

概要 氷見市街の沖300mの富山湾に浮かぶ小島で、寺院が島を所有していることから、弁天堂や観音堂が島内に設けられている。もとは陸続きであったが、日本海の浸食によって岩質の堅いところのみが島として残っている地形と考えられている。植生としては、マツやイヌクスの古木やトベラなどが繁茂し、学術的にも貴重な島である。南東側には富山湾越しの立山連峰が、北側には能登半島が遠望できる眺望地点でもある。

見頃・ポイント 通年、県指定天然記念物、周辺施設:道の駅「氷見」

行き方 最寄駅:JR「氷見駅」、車:国道160号「幸町」交差点から海岸沿い



85

まつだえのながはま

## 松田江の長浜



所在地 氷見市<sup>しまお</sup>島尾、柳田、<sup>くほ</sup>窪

分類 (1)植物・動物 (2)海浜 (4)文学 (5)展望地点

概要 雨晴海岸の西側から氷見市街にかけて延びる砂浜で、約3kmに渡って白砂に青松が生える景観が続いている。富山湾越しに立山連峰と能登半島を遠望できる眺望地点として人気がある。天平20年(748)に出拳の長旅から戻った大伴家持が歌に詠った長浜が、この砂浜に比定されている。また、近年ではキャンプ場が整備され、夏季には多くの海水浴客等で賑わう。

見頃・ポイント 通年、『万葉集』

行き方 最寄駅:JR「島尾駅」、車:国道415号「島尾」交差点から約5分



(氷見市教育委員会提供)



86

じゅうにちょうがたのすいごうけいかん

## 十二町潟の水郷景観



所在地 氷見市<sup>じゅうにちょう</sup>十二町

分類 (1)植物・動物 (2)潟湖 (3)公園 (4)文学

概要 仏生寺川と万尾川の中流域に広がる潟湖で、近代までの土砂の堆積や現代の灌排事業などにより、広大な湿地帯は水田化されている。万尾川中流域の約1.8kmの長さで水生植物が繁茂する十二町潟がかつての景観を偲ばせている。大伴家持とその歌仲間が万葉集に布勢の水海として秀歌をいくつも残している。潟内にはかつてはオニバスが一面に咲き誇っており、国指定天然記念物になっている。付近一帯は十二町潟水郷公園として整備され親しまれている。

見頃・ポイント 4月下旬、オニバス:夏期、ハクチョウ:冬期、国指定天然記念物

行き方 車:国道160号「朝日丘」交差点から「十二町潟水郷公園」方面



87

ふじなみじんじやのしらふじとしゃそう

## 藤波神社の白藤と社叢

所在地 水見市しもたこ下田子

分類 (1)植物(4)文学

概要 かつて存在した布勢の水海の南端の丘陵上に所在する藤波神社は8世紀に創建されたと伝えられる古社である。毎年5月頃には、境内の白藤が見事に咲き誇り、境内の杉の巨木などからみつけた藤の景観は、春の風物詩となっている。謡曲の「藤」の舞台としても知られている。大伴家持は布勢の水海に遊覧した際にこの藤を歌に詠んでいる。また、社叢はヤブコウジ、スダジイやヤブツバキなどで水見市指定名勝に指定されている。

見頃・ポイント フジ:5月、『万葉集』、市指定名勝

行き方 車:国道160号「下田子北」交差点から約5分



(水見市教育委員会提供)



88

こうきゅうじのちやてい

## 光久寺の茶庭

所在地 水見市いくぼ飯久保

分類 (3)庭園

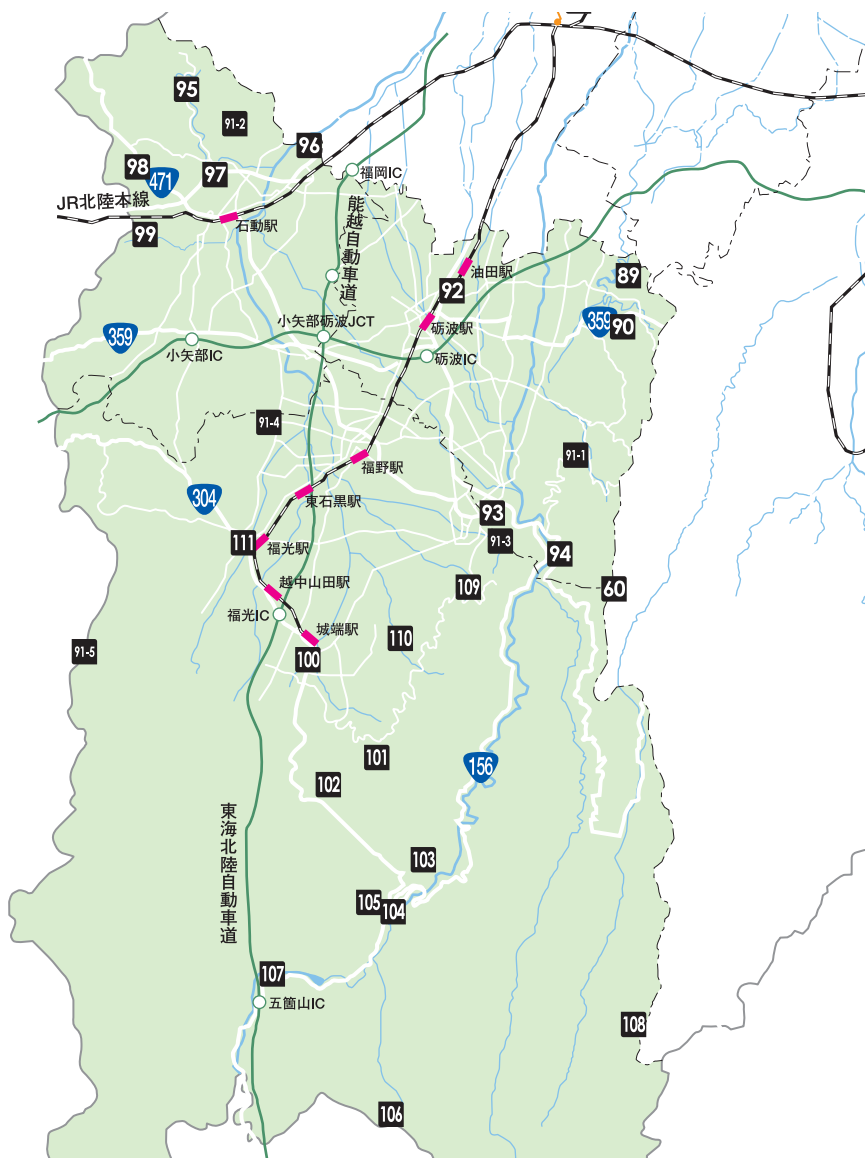
概要 水見市街の南西側に広がる丘陵の麓に、浄土真宗の古刹・光久寺が所在する。その庭園は茶庭と呼ばれ、江戸時代に造園師の駒造が築造したと伝承され、回遊式の庭園となっている。背後の山の樹林、穏やかな丘陵地形と見事に調和した落ち着いた庭園である。座敷と書院をつなぐ回廊が中庭に続き、清流と相まって清楚な空間を醸し出している。県内で唯一の県指定の名勝であり、地域の人々に親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋、県指定名勝、団体等の場合は要問合せ

行き方 車:国道160号「上田子」交差点から県道仏生寺太田線、約10分

# 砺波地区

砺波市、小矢部市、南砺市





89

ますやますぎのりんぎょうけいかん

## マスヤマズギの林業景観



所在地 砺波市増山

分類 (1) 植物 (3) 農業景観等

概要 庄川右岸の丘陵上に位置する増山は、中世の大きな山城である。この山腹一面には、マスヤマズギと呼ばれる建具材として品質の良いスギが植えられている。スギの繁殖は、大きな挿し木苗が択伐林に植え込まれて行われ、粘り強く狂いの少ない材質として評価が高い。樹林が生育する増山城跡はいくつもの曲輪で構成される、上杉謙信が何度も攻め入った歴史を持ち、難攻不落の山城と言われた。国指定史跡であり、地域の人々に親しまれている。

見頃・ポイント 通年、国指定史跡

行き方 車：「砺波IC」から約30分、もしくは国道359号から梅檀野方面



90

らんじょうのもりのはなしょうぶばたけ

## 頼成の森のハナショウブ畑



所在地 砺波市頼成

分類 (1) 植物 (3) 公園

概要 牛岳の北側山麓は射水平野に向かって穏やかな丘陵地形となり、その中腹に約115haの広さを誇る「県民公園頼成の森」がある。県民の身近な森林公園で春から秋まで多くの県民が訪れており、とりわけ約600品種で70万株といわれるハナショウブ畑が、植物景観としてまた、公園景観として親しまれている。園内には遊歩道が整備され、コナラ、ホオノキ、ヤマボウシなど多くの樹木を観察することができる。

見頃・ポイント 6月中旬～下旬

行き方 「砺波IC」または「小杉IC」から20分国道359号沿い、バス停：加越能バス「頼成の森」

91

となみへいやのちょうぼう

## 砺波平野の眺望



### 91-1 砺波市夢の平からの眺望

**所在地** 砺波市<sup>ごたに</sup>五谷

**分類** (5)展望地点

**概要** 庄川右岸の緩やかな山腹に広がる夢の平スキー場には、ゲレンデの約2haの丘っばいに約百万本のコスモスが咲き乱れる。富山県屈指のコスモス畑であり、多くの観光客で賑わう。ここからは南西方向に、庄川の流れと砺波平野を一望することができる。砺波平野は農家が点在する散村としても知られ、カキノと呼ばれる屋敷林で囲まれた大型のアズマダチ建物が点在する景観を楽しむことができる。

**見頃・ポイント** 春～秋

**行き方** 車:「砺波IC」から県道新湊庄川線方面、同「三谷」交差点から五谷方面



(小矢部市教育委員会提供)

91

となみへいやのちょうぼう

## 砺波平野の眺望



### 91-2 小矢部市稲葉山からの眺望

**所在地** 小矢部市稲葉山

**分類** (5)展望地点

**概要** 宝達丘陵の南側に位置する標高346mの稲葉山からは、南方に小矢部川、蟹谷丘陵、砺波平野の散村を眺望することができる。さらに南東側に立山連峰の峰々を遠望することができ、県内屈指の眺望地点として多くの人々が四季を通じて訪れている。山頂から中腹にかけては約80haの牧場が広がっており、乳牛の放牧場としてのどかな牧畜景観を呈している。また、遊園地や、バーベキュー広場なども設けられ、自然の中の憩いの広場として親しまれている。

**見頃・ポイント** 春～秋

**行き方** 車:国道8号「西中野」交差点から県道小矢部伏木港線約30分

91

となみへいやのちょうぼう

## 砺波平野の眺望



### 91-3 閑乗寺公園からの眺望

所在地 南砺市閑乗寺

分類 (3)公園・農業景観等(5)展望地点

概要 砺波平野の南東側にそびえる八乙女山の北側の山腹になだらかに広がる高原が閑乗寺公園である。標高は約300mを測り、周囲を松林が囲み、公園内は草原として整備されている。北側には砺波平野の散村が一望でき、カインヨに囲まれた農家、整然と並ぶ水田、網の目のように流れる水路など、美しい農村景観を眺望できる。また、庄川、医王山、富山湾なども遠望でき、富山県西部を代表する展望地点として親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:「砺波IC」から道の駅「井波」方面約30分、道の駅から南方面約20分



(南砺市教育委員会提供)



91

となみへいやのちょうぼう

## 砺波平野の眺望



### 91-4 安居寺周囲からの眺望

所在地 南砺市安居

分類 (1)植物(3)公園(5)展望地点

概要 砺波平野の西側で蟹谷丘陵の東端の麓に、真言宗の古刹安居寺が所在する。加賀藩前田家の祈願所として保護され、現在でも多くの参拝者で賑わっている。背後の山林や周囲は、安居寺公園として整備され、多くのサクラが植えられている。展望台からはサクラ越しの砺波平野の散村を眺望することができ、「とやま森林浴の森」にも選定されるなど、手軽な散策の場として親しまれている。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:「福光IC」から約20分、国道359号「箕輪」交差点から県道福光福岡線約10分



91

となみへいやのちようぼう

## 砺波平野の眺望



### 91-5 医王山とその眺望

所在地 南砺市<sup>さいかわしち</sup>才川七

分類 (1)植物・動物(2)山岳(5)展望地点

概要 富山・石川県境にそびえる標高939mの医王山<sup>いおうせん</sup>は、山岳信仰の修験の場として開山された。天台密教の霊場であり、48坊もの寺院が存在したとされる。白山山系の最北端であり、いくつかのピークが存在する穏やかな稜線を持つ山塊である。山腹はコナラ、ミズナラ、ブナなどの落葉広葉樹が生い茂り、多くの種類の鳥類、獣類が生息している。山頂からは東側に砺波平野の散村の眺望が見事である。

見頃・ポイント 通年

行き方 車:「福光IC」から「イオックスアローザ」方面約50分、途中から徒歩



(南砺市教育委員会提供)



(砺波市教育委員会提供)

92

となみへいやのちゅーりっぷばたけけいかん

## 砺波平野のチューリップ畑景観



所在地 砺波平野一帯

分類 (1)植物(3)農業景観等

概要 砺波平野にチューリップ球根生産を導入した草分けは、大正時代の水野豊造である。4月下旬から5月上旬にかけての開花時期には、平野一面が鮮やかで色とりどりのチューリップの絨毯が広がる壮大で美しい景観が堪能できる。砺波市では昭和27年から市内の公園等を会場としてチューリップフェアを開催し、約百万本の花が咲き誇り、全国から多くの観光客で賑わう。富山県ならではの農業景観である。

見頃・ポイント チューリップ:4月下旬~5月上旬、周辺施設「チューリップ四季彩館」

行き方 車:「砺波IC」から近隣のは場一帯

93

うりわりしょうず

## 瓜裂清水



所在地 砺波市庄川町金屋

分類 (2)湧泉

概要 庄川の左岸で、砺波平野の南西端に位置する瓜裂清水には、古刹・瑞泉寺の開祖である綽如上人が休憩の際、馬の蹄が陥没し、清水が湧き出したものとの由緒がある。上人を慕う里人が清水で瓜を冷やしたところ、自然に裂けたことから命名されたという。地域の人々からは霊水として崇められ、往来の旅人の喉を潤してきた。昭和60年に全国名水百選に選定され、住民の憩いの場として大切にされている。

見頃・ポイント 通年、市指定名勝

行き方 車:国道156号「金屋」交差点から約5分



94

しょうがわきょう

## 庄川峡



所在地 砺波市庄川町小牧 ほか

分類 (2)峡谷

概要 岐阜県に源を発する庄川は飛騨山地を深く侵食し、砺波平野を北流して富山湾に注いでいる。近代の電源開発によって設けられたダムで形成された人造湖は、周囲のブナやケヤキの樹林などと相まって、美しい峡谷美を誇っている。新緑には水面が青く染まり、紅葉には山腹が鮮やかな色彩のキャンパスとなる。雪化粧した山肌は厳かな空間を演出する。観光汽船が航行しており、四季折々、多くの来訪者で賑わう。

見頃・ポイント 通年

行き方 車:「砺波IC」から国道156号小牧方面、庄川上流

95

みやじまきょうとみやじまさぎ

## 宮島峡と宮島杉

所在地 小矢部市名ヶ滝 みやうがだき ほか

分類 (1)植物 (2)峡谷 (3)公園

概要 小矢部市街の北側に小矢部川の支流である子撫川が、穏やかな宝達丘陵を南流し、峡谷地形を形成している。流域の川底には侵食によって形成された小さな滝が多く存在している。一の滝にはおう穴が見られ、二の滝には三枚の階段状の段差が見られ、県指定文化財となっている。また、宮島峡の山々にはボカ杉とも呼ばれる宮島杉が生育し、真っ直ぐ天に向かって伸びた樹林は、美しい林業景観を呈している。

見頃・ポイント 春～秋、県指定天然記念物

行き方 車:国道8号線「桜町西」交差点から県道小矢部津幡線約20分



(小矢部市教育委員会提供)



(小矢部市教育委員会提供)

96

ほうしょうじのていえん

## 宝性寺の庭園



所在地 小矢部市岡

分類 (3)庭園

概要 小矢部川の右岸に所在する宝性寺の地は、木舟城の武将石黒左近成綱が防衛と物資補給の拠点として館を構えたことから、左近屋敷とも呼ばれている。江戸時代の末期に宝性寺がこの場所に移転し、現在に至っている。庭園は、心字池を囲む戸室石の灯籠、鶴亀の石組、立石の手水、池に架かる橋などが配されている。周囲にはスギ、シイ、ユズリハなどの古木で覆われ、自然豊かな環境の中に、歴史的な雰囲気漂わせている。

見頃・ポイント 春～秋、事前の連絡が必要

行き方 車:国道8号「岡南」交差点から約10分



97

しろやまこうえん

## 城山公園



所在地 小矢部市城山町

しろやままち

分類 (1)植物(3)公園(5)展望地点

概要 小矢部市街の北側の丘陵上には、約400年前の天正年間に前田利秀の居城となった今石動城跡が存在する。中腹には自然地形を活かした公園が整備され、大正時代に植えられた約4,000本のサクラが咲き誇る名所となっている。市街地からは、観桜路と呼ばれる小道が公園までまっすぐ整備されている。北側の眼下には宿場町として栄えた町並みが広がり、小矢部川、蟹谷丘陵、砺波平野が遠望できる眺望地点として親しまれている。

見頃・ポイント 春期、秋期、市指定史跡

行き方 車:国道8号「桜町東」交差点から約15分



(小矢部市教育委員会提供)



(小矢部市教育委員会提供)

98

つぼのちくのたなだ

## 坪野地区の棚田



所在地 小矢部市道坪野、峯坪野、谷坪野

どうつぼの みねつぼの

分類 (3)農業景観等

概要 宝達丘陵の南側で穏やかな山並みが連なる富山・石川両県の県境付近に、広大な棚田が広がっている。山の斜面に向かって整然とほ場整備された棚田が幾重にも並び、山頂付近の樹林と相まって日本の代表的な山間地景観を呈している。農家の家屋は盆地地形の底に集落を形成しており、人々のたたずまいと水田耕作という牧歌的な情緒が偲ばれる。

見頃・ポイント 4月下旬～10月

行き方 車:国道8号「安楽寺IC」から国道471号を石川県方面

99

くりにから

## 俱利伽羅



所在地 小矢部市蓮沼、埴生 ほか

分類 (1)植物・動物(4)文学(5)展望地点

概要 富山・石川両県の県境に横たわる砺波山は標高300m程の緩やかな丘陵地形で、古くから北陸道の要衝であった。約800年前に木曾義仲が平家軍と対戦した俱利伽羅古戦場として全国に知られている。春には山中の約6,000本の八重桜が咲き誇り、秋の紅葉も見応えがあり、四季をとおして、多くの人々で賑わう。麓には国指定重要文化財の護国八幡宮が鎮座し、歴史的景観も維持されている。

見頃・ポイント 春～秋、『源平盛衰記』、国指定重要文化財、市指定史跡

行き方 車:国道8号「芹川東」交差点から県道小矢部福光線を石川県方面



(小矢部市教育委員会提供)



(南砺市教育委員会提供)

100

ぜんとくじのていえん

## 善徳寺の庭園



所在地 南砺市城端

分類 (3)庭園

概要 砺波平野の南端の河岸段丘上に開けた門前町が城端であり、16世紀中頃に浄土真宗の古刹・善徳寺を中心として発展した町並みである。境内には、江戸時代後期の多くの建造物が配されて、歴史的な重厚な雰囲気を残している。江戸時代中期に造園師の駒造によって築庭されたと伝えられる庭園は、マツやケヤキの古木と、枯山水をしつらえた岩石が落ち着いた空間を創出しており、静寂を求める来訪者が絶えない。

見頃・ポイント 春～秋、市指定天然記念物、事前の連絡が必要

行き方 最寄駅:JR「城端駅」、車:「福光IC」から約15分

101

なわがいけ

## 縄ヶ池

所在地 南砺市<sup>みのだにやま</sup>裏谷山

分類 (1)植物・動物 (2)湖沼・湿原 (3)公園

概要 砺波平野の南側にそびえる標高1,145mの清水山の高清水山の山腹で、土砂によって堰き止められた湖が縄ヶ池である。水深は約10mで池の周囲は約2kmを測る。南側には浅い湿地帯が広がり、一面にミズバショウが群生しており、県指定の天然記念物となっている。5月上旬から下旬にかけて清廉な白い花が一斉に咲き、湖との神秘的な景観は多くの人々の目を楽しませている。北方に広がる砺波平野の眺望地点としても知られている。

見頃・ポイント ミズバショウ:5月上旬、県指定天然記念物

行き方 車:「福光IC」から約50分「つくばね森林公園」方面



(ミズバショウ:南砺市教育委員会提供)



102

めおとだき

## 夫婦滝

所在地 南砺市<sup>りんどう</sup>林道

分類 (2)滝

概要 砺波平野の南側にそびえる高落場山から流れる打尾川の上流で、林道高清水線の道路脇に位置する2条の滝である。山腹に向かって右側が男滝、左側が女滝で、仲間つまじいことから、夜になると1本の滝になると言い伝えられている。高さは38mの繊細な流れの滝で、周囲のみずみずしいブナ林と調和して美しい景観を呈している。アプローチが容易なこともあり、新緑や紅葉の季節には多くの見学者が訪れている。

見頃・ポイント 5月～10月、市指定名勝

行き方 車:「福光IC」から約30分「つくばね森林公園」方面



103

てんちゅうせき

## 天柱石



所在地 南砺市上松尾

分類 (2) 岩石 (4) 文学

概要 五箇山の庄川左岸の山中にそびえる安山岩の巨岩で、「立石」とも言われている。約32mの高さで周囲は76mを測り、仏像の向背に類似している。根元に空いている洞窟は、4km程離れた縄ヶ池まで続いているとも言われている。巨大な1枚岩が天空に向かってそそり立つ景観は、古くから信仰の対象として崇められてきた。江戸時代後期の『二十四輩順拝図会』にも描かれた名勝地である。

見頃・ポイント 春～秋、『二十四輩順拝図会』、市指定名勝天然記念物

行き方 車：国道304号「梨谷トンネル」五箇山側から上松尾方面、途中から徒歩



(南砺市教育委員会提供)



104

あいのくらのたなだ

## 相倉の棚田



所在地 南砺市相倉

分類 (3) 農業景観等

概要 庄川左岸の山腹に、世界文化遺産に登録された合掌造り集落の相倉集落が存在する。家並みの北側には棚田が広がり、石積み畦畔に、細い水路と小さな水田が緩やかな山腹に階段状に伸びている。西側の山の斜面にはブナの原生林が「雪持林」として保安林の役割を果たしており、棚田の景観と調和した自然の美しさを醸し出し、日本の原風景のひとつとなっている。収穫された米は「世界遺産米」として好評を得ている。

見頃・ポイント 5月下旬～10月、国指定史跡

行き方 車：「五箇山IC」から国道156号約20分、世界遺産「五箇山の合掌造り集落」内

105

ごかやまのかやば

## 五箇山の茅場



所在地 南砺市相倉 ほか

分類 (3) 農業景観等

概要 五箇山の相倉集落と菅沼集落は、世界文化遺産に登録され、日本の原風景といわれる合掌造りの農業景観を今に残している。建物の屋根は茅で葺かれており、山中に多くの茅場が設けられ、毎年、茅の生産が行われている。生産される茅は細くてストロー状のもので、コガヤと呼ばれている。みぞれ模様となる10月下旬に刈り取られ、乾燥のために山腹に輪を描くかのように広げられる景観は、美しく芸術的な農業景観となっている。

見頃・ポイント 10月中旬～下旬、国指定史跡

行き方 車:「五箇山IC」から国道156号約50分



## ちよつと コラム 2

### 大伴家持が『万葉集』に残した富山の名勝

『万葉集』の選者としても有名な大伴家持は、越中の国守として746年～751年まで、越中に赴任していました。

大伴家持は越中の風土を数多く歌に詠みました。家持とその歌仲間によって詠まれた越中万葉と言われる歌は、337首もあります。

1300年前の『万葉集』に登場する地名が今も残っていたり、大伴家持が崇めていた「立山（たちやま）」の峰々を眺めることができます。

万葉の時代に思いを馳せて、あらためて歌まぐらの地を訪れてみませんか？

106

にんぎょうざんのゆきえ

## 人形山の雪絵



所在地 南砺市田向

分類 (2)山岳(4)文学・芸術作品等

概要 飛騨山地の北側で岐阜県の県境近くにとびえ、標高1,726mを測る。古くから山岳信仰の修験場として開山され、現在でも6月の山開きには多くの登山者で賑わう。雪解け時には北側の山腹に、二人の子供が手をつないでいるかのような雪絵が現れる。老母の回復を祈願するために山に分け入った幼い姉妹にまつわる民話が伝承されており、江戸時代後期の『二十四輩順拝図会』にも紹介されている。

見頃・ポイント 4月下旬～5月上旬、『二十四輩順拝図会』

行き方 車:国道304号「梨谷トンネル」五箇山側駐車場や世界遺産「五箇山の合掌造り集落(相倉)」からが展望ポイント



107

すがぬまのゆきもちばやし

## 菅沼の雪持林



所在地 南砺市菅沼

分類 (1)植物

概要 庄川右岸の河岸段丘上の小さな平坦地に、世界文化遺産に登録された菅沼地区が存在する。水田と合掌造り建物の東側には、「雪持林」と呼ばれる樹林が生い茂る急斜面の山腹が広がる。樹種はブナ、トチ、ミズナラなどで、江戸時代から伐採が禁じられ、うっそうとした原生林の景観を残している。合掌造り集落にとっては、冬季の雪崩を防止する大事な保安林である。集落背後の樹林で構成される日本の山間集落の典型的な農村景観を残している。

見頃・ポイント 春～秋、紅葉:10月下旬、国指定史跡

行き方 車:「五箇山IC」から国道156号沿い約5分



# 108 金剛堂山

こんごうどうさん



所在地 南砺市利賀村上百瀬

とがむらかみももせ

分類 (2)山岳(5)展望地点

概要 飛騨山地の南側で岐阜県境近くにそびえる1,650mの秀峰、日本二百名山のひとつに数えられている。3つのピークがあり、うちひとつの中金剛には富山藩10代藩主前田利保の歌の歌碑が建てられている。山頂付近は風衝草原となっており、ガキ田と呼ばれる小池も分布している。山頂からは北東方向に白木峰、朝日岳、乗鞍岳や北アルプスの稜線が遠望できる。立山連峰も眺望でき、壮大なパノラマが堪能できる。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:国道471号から県道上百瀬島地線で「スノーパレー利賀」方面、途中から徒歩



(南砺市教育委員会提供)



(南砺市教育委員会提供)

# 109 不動滝

ふどうだき



所在地 南砺市大谷

分類 (2)滝

概要 砺波平野の南東側にそびえる標高751mの八乙女山の山腹にある小滝で、西大谷川の上流に位置する。滝の両岸が崖壁となっており、樹林と岩盤の間を潜り抜けるように落ちる滝の様子は、水量はさほど多くないものの迫力ある流れとなっている。近くから湧き出る岩清水は「不動滝の霊水」として人々に親しまれ、「平成の名水百選」に選定されている。井波の市街地から林道が通じており、霊水を求める人々が多く訪れている。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:「砺波IC」から約50分

110

あかそふことしゅういのけいかん

## 赤祖父湖と周囲の景観



所在地 南砺市井口

分類 (3)公園

概要 砺波平野の南側にそびえる赤祖父山の山裾に設けられた農業用の溜池で、周囲は約3kmを測る。この山は古くから「水持林」として伐採が禁じられ、ブナ、トチ、ミズナラなどのうっそうとした原生林となっている。池の周囲は樹林で覆われ、四季折々の変化が湖面に映え、散策の場としても親しまれている。アウトドア用の設備も整備され、池ではヘラブナ釣も楽しめるなど憩いの広場となっている。

見頃・ポイント 春～秋

行き方 車:「福光IC」から約30分、「トナミロイヤルGC」方面



(南砺市教育委員会提供)



(南砺市教育委員会提供)

111

ふくみつかせんこうえんのさくらなみき

## ふくみつ河川公園の桜並木



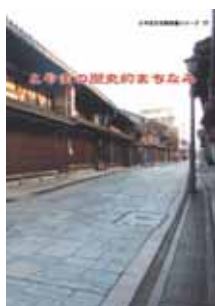
所在地 南砺市福光

分類 (1)植物(3)公園(5)展望地点

概要 小矢部川は福光市街地を通過し、その堤防沿いには、昭和5年から植樹されたソメイヨシノの並木があり、地域の代表的景観として人々に親しまれている。500本近くの桜が両岸に植えられ、西方の医王山、東方の八乙女山などの山並みを背景に淡桃色の並木が映える。ふくみつ河川公園として整備され、住民の憩いの場として親しまれている。

見頃・ポイント 通年、サクラ:4月上旬～中旬

行き方 最寄駅:JR「福光駅」、車:「福光IC」から約10分



## これまでの「とやま文化財百選」シリーズ

平成16年度	「とやまの土蔵」	県内の歴史的な土蔵100件を選定
平成17年度	「とやまの獅子舞」	県内各地に伝わる獅子舞111件を選定
平成18年度	「とやまの祭り」	県内各地で行われる祭り103件を選定
平成19年度	「とやまの年中行事」	県内各地で行われる行事101件を選定
平成20年度	「とやまのお城」	県内各地の山城・平城・居館跡108件を選定
平成21年度	「とやまの近代歴史遺産」	富山の近代化を物語る歴史遺産106件を選定
平成22年度	「とやまの歴史的まちなみ」	県内各地の歴史的なまちなみ104件を選定
平成23年度	「とやまの名勝」	県内各地の名勝111件を選定

これらの冊子は、富山県のHP (<http://www.pref.toyama.lg.jp>) からご覧になれます。

※富山県HPのトップ画面で「富山県デジタル文化財ミュージアム」、「企画展示室」で検索して下さい。



## ◎越中万葉歌碑まっぷ



今回の「とやま名勝百選」の中には、万葉集に登場するものがあります。

富山県教育委員会では、平成22年度に万葉歌碑のマップを作成しました。

『越中万葉歌碑まっぷ』は、富山県のHP (<http://www.pref.toyama.lg.jp>) からご覧になれます。

※富山県HPのトップ画面で「富山県デジタル文化財ミュージアム」、「企画展示室」で検索して下さい。

## ◎すすめたい ふるさととやま100冊の本

「ふるさと教育」を推進している富山県では、平成22年度に小学生から高校生までにすすめたい、ふるさと富山にまつわる本を100冊選定しました。今回、「とやまの名勝百選」の選定にあたり、「文学・芸術作品等に登場する名勝」を選定対象にしたことから、ここに紹介いたします。

『すすめたい ふるさととやま100冊の本』のパンフレットは、富山県のHP (<http://www.pref.toyama.lg.jp>) からご覧になれます。

※富山県HPのトップ画面で「ふるさととやま100冊の本」で検索して下さい。

## すすめたい ふるさととやま100冊の本リスト(50音順)

1	青桐	木崎さと子
2	あざみの歌	山本なおこ／文 安和子／絵
3	飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ	井村和清
4	イラストでつづるとやまのれきし	アド・バルス
5	魚津だより	池田弥三郎／著 読売新聞北陸支社／編
6	ウオツのしんきろう	浜口俊介・浜口節子／文 ほんまさえ／絵
7	海の懸け橋 昆布ロードと越中	北日本新聞社編集部 編
8	絵草紙 越中の家持	北日本新聞社 編
9	越中讃歌	北日本新聞社 編
10	越中の伝説	石崎直義
11	越中の民話 第1集、第2集	伊藤曙寛他 編
12	越中万葉百科	高岡市万葉歴史館 編
13	越中流	北日本新聞社編集部 編
14	江戸時代人づくり風土記 16 ふるさとの人と知恵 富山	加藤秀俊 他編
15	大人になる前に身につけてほしいこと	坂東眞理子
16	おはなしはともだち 富山のメルヘン	尾島さみ枝／文 河内ゆう子／絵
17	おらっちゃんらっちゃん 富山弁	養島良二
18	オロロのいる村	遠藤和子
19	街道をゆく 4	司馬遼太郎
20	風の盆の町	松浦とも子／文 福田岩緒／絵
21	風のまにまに	岩倉政治／著 般若一郎／絵
22	カモシカとよかん	魚瀬ゆう子／文 水上悦子／絵
23	カルデラの赤電話	吉友嘉久子／文 渡辺あきお／絵
24	キクちゃんのくつ	平尾美智子／文 織茂恭子／絵
25	キトキトの魚	室井滋
26	きめた道をまっすくに ノーベル賞化学者・田中耕一の原因	北日本新聞社編集部 監修
27	九転十起の男	新田純子

28	空気がなくなる日	岩倉政治／文 二俣英五郎／絵
29	草刈り十字軍～足立原先生とわかものたち～	伊藤真智子／文 金子健治／絵
30	崩れ	幸田文
31	黒部の太陽	木本正次
32	くろべのツクコぎつね	大淵輝明／文 井口文秀／絵
33	クロベのトロッコ電車	浜口俊介・浜口節子／文 ほんまさえ／絵
34	高熱隧道	吉村昭
35	コーリャよはばたけ	井口文秀／文・絵
36	詩集 雪道	青木新門
37	地震の記憶	廣瀬誠
38	史伝 佐々成政	遠藤和子
39	死の川とたたかう	八田清信
40	生涯最高の失敗	田中耕一
41	新編 山と溪谷	田部重治
42	瑞泉寺と門前町井波	千秋謙治
43	センナじいとくま	松谷みよ子／文 井口文秀／絵
44	立山・黒部 未来への道	北日本新聞社編集局 編
45	立山のライチョウ	浜口俊介・浜口節子／文 ほんまさえ／絵
46	ダモイ遙かに	辺見じゅん
47	チュウリップが咲いた～メルヘンの花を咲かせた水野豊造～	伊藤真智子／文 井口文秀／絵
48	ちよちちゃんとハイとだまし川	大成勝代／文 小泉ちよゑ／絵
49	沈黙の森	北日本新聞社編集局 編
50	翼を持ったお巡りさん	谷口凱夫
51	剣岳〈点の記〉	新田次郎
52	鶴のいた庭	堀田善術
53	転生回廊 聖地カイラス巡礼	青木新／著 寺田周明／写真
54	天保の人びと／五箇山ぐらし 続天保の人びと	かつおきんや
55	童話 つらの坊や	青木新門
56	時を呼ぶ声	久世光彦
57	とべないホタル	小沢昭巳／文 森寛子／絵
58	とやま面白学・富山の自然再発見	とやま面白学企画編集会議 編
59	富山県を築いた人びと	富山社会教育研究会 編
60	富山なぞ食探検	読売新聞富山支局 編
61	富山の伝説	富山県児童文学研究会
62	富山の童話	日本児童文学者協会 編
63	とやまの民話 第1集、第2集	石崎直義
64	富山の昔話	石黒洋子
65	富山廃線紀行	草卓人
66	富山100年のあゆみ	富山県教育委員会 編
67	富山湾を科学する	富山県水産試験場 編
68	長い道	柏原兵三
69	虹のたつ峰をこえて	新聞ゆり子
70	日本の子どもの詩 16 富山	日本作文の会
71	日本の伝説24 富山の伝説	辺見じゅん 他
72	日本の山に生きた人々	安川茂雄
73	納棺夫日記	青木新門
74	ノーベル化学賞「田中耕一さん」の研究	フレア情報研究会 編
75	瀑流	山田和
76	八月二日、天まで焼けた	奥田史郎・中山伊佐男
77	花子のくいの歳時記	辺見じゅん
78	陽が昇るとき	木々康子
79	ビジュアルワイド 新日本風土記16 富山県	市川健夫 監修
80	漂流 宇三郎	井伏鱒二
81	漂流 次郎吉 太平洋を越えた北前船の男たち	津田文平
82	藤子・F・不二雄	黒沢哲也／シナリオ さいとうはるお／まんが
83	ふるさと文学館 第20巻	八木光昭 編
84	笹川	宮本輝
85	ほたる先生と「とべないホタル」たち	綾野まさる／文 平林いずみ／絵
86	ほむら色の空	前野時子／文・絵
87	まぼろしの木橋	かつおきんや／文 梶山俊夫／絵
88	みしま野の白いとり	小沢昭巳／文 みずかみえつこ／絵
89	山から声が降ってくる	かつおきんや
90	山へ入って草を刈ろう 草刈り十字軍17年の軌跡	足立原真
91	夢を追いもとめて ～ふるさと“とやま”のチャレンジャー～	富山県小学校教育研究会
92	読みがたり富山のむかし話	富山県児童文学研究会
93	ライチョウ	高橋敬市／写真
94	らいちょうと立山ののりもの	羽田竹美／文 伊藤梯夫／絵
95	ライチョウは生きる	遠藤和子／文 井口文秀／絵
96	理科室から生まれたノーベル賞 田中耕一ものがたり	岡松俊秀／文 藤本四郎／絵
97	龍の眠っている山	桐谷正
98	りんこちゃんの8月1日	むらかみりんこ／文 にしじまひろこ／絵
99	ルメイ最後の空襲	中山伊佐男
100	若き日の詩人たちの肖像	堀田吉衛

## 8 とやまの名勝百選一覧

No.	市町村	名 称	所 在 地	見 頃	掲載頁
1	朝日町	白馬連山高山植物帯	下新川郡朝日町大蓮華(黒部市宇奈月町)	夏期	6
2	朝日町	護国寺の庭園	下新川郡朝日町境	通年、ツツジ・シャクナゲ5～6月	6
3	朝日町	ヒスイ海岸	下新川郡朝日町宮崎	通年	7
4	朝日町	あさひ城山公園	下新川郡朝日町城山	春～秋	7
5	朝日町	七重滝(しっちゃだき)	下新川郡朝日町笹川	春～秋	8
6	朝日町	北又三段滝	下新川郡朝日町北又谷	夏期	8
7	入善町	「長い道」とその眺望	下新川郡入善町吉原、上原	通年	9
8	入善町	杉沢の沢スギ	下新川郡入善町吉原	春～秋	9
9	入善町	園家山の海岸	下新川郡入善町下飯野	通年	10
10	入善町	黒部川扇状地のチューリップ畑景観	下新川郡入善町の黒部川扇状地一帯	春(4月下旬～5月上旬)	10
11	入善町	舟見山と負釣山からの眺望 ①舟見山からの眺望 ②負釣山からの眺望	①下新川郡入善町舟見 ②下新川郡入善町舟見	春～秋	11
(1)	黒部市	白馬連山高山植物帯	黒部市宇奈月町(下新川郡朝日町大蓮華)	夏期	6
12	黒部市	西徳寺の庭園	黒部市三日市	春～秋	12
13	黒部市	天真寺の庭園	黒部市若栗	春～秋	12
14	黒部市	黒部峡谷	黒部市宇奈月町黒部(中新川郡立山町芦峰寺)	4月末～11月末	13
15	魚津市	天神山とその眺望	魚津市天神野新	春～秋	14
16	魚津市	僧ヶ岳と雪絵	魚津市二ヶ	通年、雪絵:4月中旬～5月初旬	14
17	魚津市	魚津浜と蜃気楼展望地点	魚津市釈迦堂地先	通年、蜃気楼:4月下旬～6月上旬	15
18	魚津市	早月川下流の眺望と桜並木	魚津市三ヶ	通年、サクラ:4月上旬	15
19	魚津市	魚津のリンゴ畑景観	魚津市吉島など	リンゴ花:4月下旬～5月上旬、 リンゴ:10月下旬～11月上旬	16
20	魚津市	片貝川の洞杉とその景観	魚津市三ヶ	5月～10月	16
21	滑川市	ホタルイカ群遊海面	滑川市の海岸一帯	海岸:通年、ホタルイカ漁:3月～5月	17
22	滑川市	行田公園の花菖蒲園	滑川市上小泉	ハナショウブ:6月中旬、公園:通年	18
23	滑川市	東福寺野自然公園からの眺望	滑川市東福寺野	4月～11月末	18
24	上市町	立山寺参道のとが並木	中新川郡上市町眼目	通年	20
25	上市町	まま子滝	中新川郡上市町釈泉寺	春～秋	20
26	上市町	千巖溪	中新川郡上市町大岩	春～秋	21
27	上市町	浅生の釜池とつぶら池	中新川郡上市町浅生	春～秋(冬期閉鎖)	21
28	上市町	日石寺の境内と六本滝	中新川郡上市町大岩	通年、六本滝での滝修行は寒の時期	22
29	上市町	東種の棚田	中新川郡上市町東種	春～秋	22



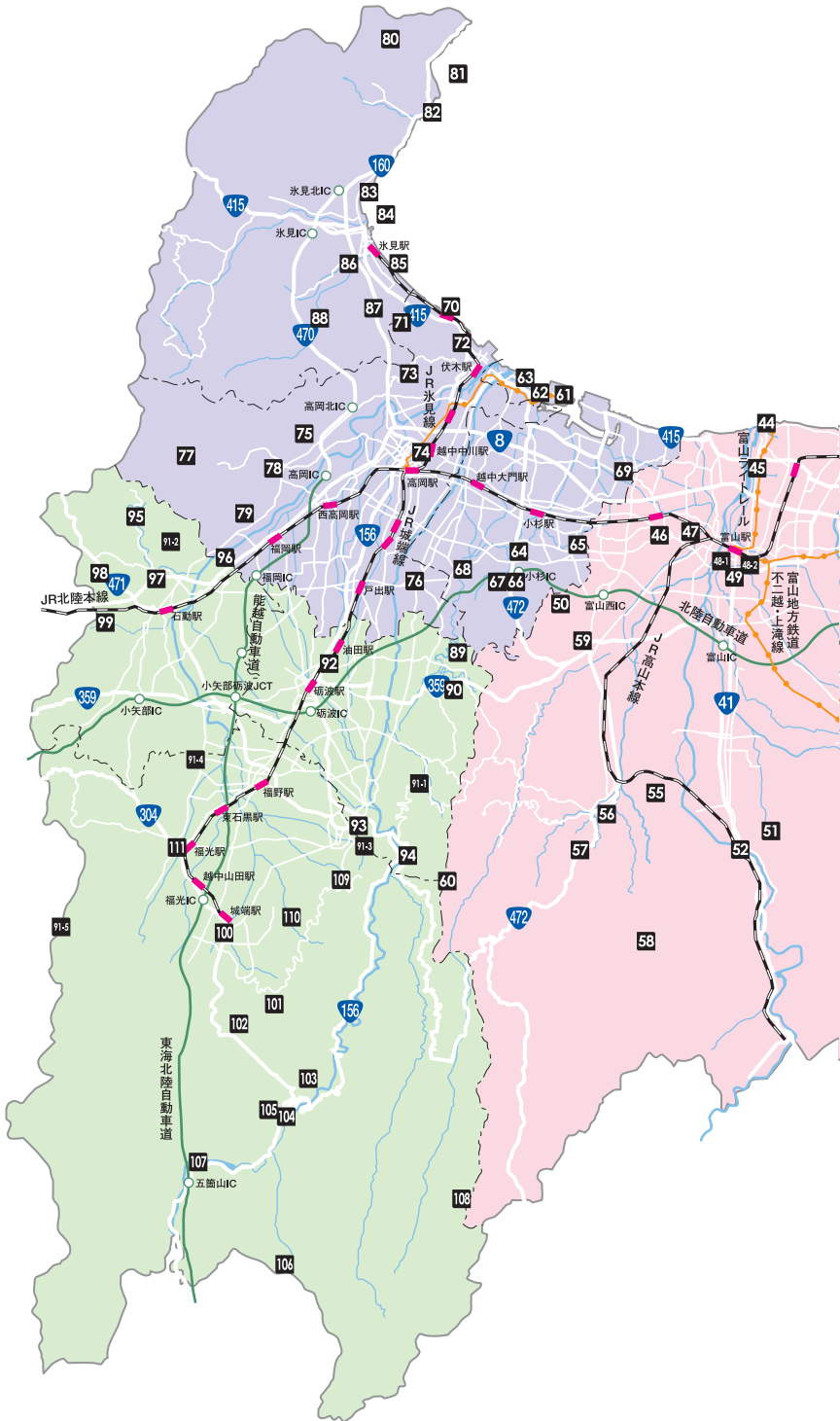
No.	市町村	名 称	所 在 地	見 頃	掲載頁
30	上市町	中山と伊折からの劔岳眺望	中新川郡上市町伊折、中山	春～秋	23
31	上市町	劔岳	中新川郡上市町伊折	通年	24
32	上市町	立山川の菊石	中新川郡上市町伊折	春～秋(冬期閉鎖)	24
33	舟橋村	無量寺と蓮畑	中新川郡舟橋村竹内	ハス:7月下旬～8月下旬	25
34	立山町	大観峯自然公園からの眺望	中新川郡立山町四谷尾	春～秋(冬期閉鎖)	25
35	立山町	岩室の滝	中新川郡立山町虫谷	春～秋(冬期閉鎖)	26
36	立山町	長倉のミズバショウ	中新川郡立山町長倉	5月中旬	26
37	立山町	芦崎雄山神社境内林	中新川郡立山町芦崎寺	春～秋	27
38	立山町	教算坊の庭園	中新川郡立山町芦崎寺	通年	27
39	立山町	美女平とブナ坂	中新川郡立山町芦崎寺	7月～10月	28
40	立山町	悪城の壁	中新川郡立山町芦崎寺	5月～11月(冬期閉鎖)	28
41	立山町	称名滝	中新川郡立山町芦崎寺	5月～11月(冬期閉鎖)	29
42	立山町	弥陀ヶ原と称名廊下	中新川郡立山町芦崎寺	7月～10月	30
43	立山町	室堂平	中新川郡立山町芦崎寺	7月～10月	31
(14)	立山町	黒部峡谷	中新川郡立山町芦崎寺 黒部市宇奈月町黒部	4月末～11月末	13
44	富山市	古志の松原	富山市岩瀬浜 ほか	通年	32
45	富山市	馬場記念公園	富山市進町	通年	32
46	富山市	呉羽山の梨畑の景観	富山市呉羽、吉作	ナシ花:4月下旬～5月初旬、ナシ: 6月下旬～9月	33
47	富山市	呉羽山とその眺望	富山市安養坊 ほか	通年	33
48	富山市	松川といたち川の桜並木 ①松川 と桜並木 ②いたち川と桜並木	①富山市磯部町 ほか ②富山市清水町 ほか	通年、サクラ:4月上旬～中旬	34
49	富山市	富山城址公園	富山市本丸	通年、サクラ:4月上旬～中旬	35
50	富山市	田尻池ハクチョウ飛来地	富山市池多	ハクチョウ:11月～3月中旬	35
51	富山市	寺家公園	富山市寺家	通年、紅葉:10月下旬～11月上旬	36
52	富山市	笹津橋と神通峡	富山市笹津、庵谷 ほか	通年、紅葉:10月下旬～11月上旬	36
53	富山市	常西用水と殿様林	富山市上滝 ほか	春～秋、サクラ:4月上旬～中旬	37
54	富山市	有峰の自然景観	富山市有峰	7月～10月(冬期閉鎖)、紅葉: 10月上旬～下旬	37
55	富山市	深谷の湿性植物群	富山市八尾町深谷	春～秋	38
56	富山市	城ヶ山公園とその眺望	富山市八尾町諏訪町	春～秋	38
57	富山市	三乗の棚田	富山市八尾町下乗嶺、乗嶺、高嶺、新名	5月上旬～10月上旬	39
58	富山市	小井波のミズバショウ景観	富山市八尾町小井波	5月～6月	39

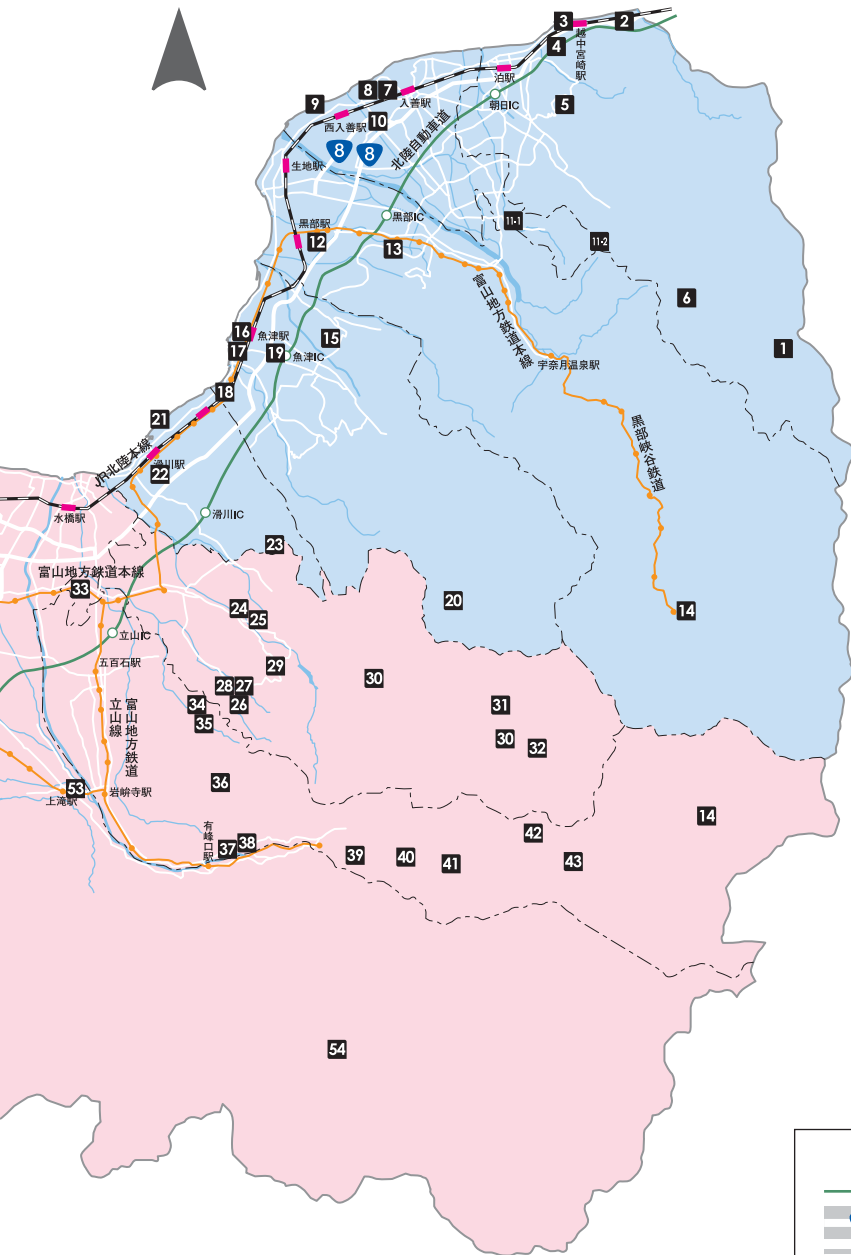
No.	市町村	名 称	所 在 地	見 頃	掲載頁
59	富山市	婦中ふるさと自然公園とその眺望	富山市婦中町羽根 ほか	通年、サクラ:4月上旬～中旬、ハナショウブ:6月上旬～中旬	40
60	富山市	牛岳の景観	富山市山田村(砺波市、南砺市)	通年	40
61	射水市	浜往來の松並木	射水市の奈呉の浦一帯の海岸	通年	42
62	射水市	放生津内川とその景観	射水市の内川周辺	通年、サクラ:4月上旬～中旬	42
63	射水市	専念寺の境内	射水市本町	通年	43
64	射水市	兜山公園	射水市黒河新	通年	43
65	射水市	黒河・塚越の竹林	射水市黒河、塚越	通年	44
66	射水市	薬勝寺池	射水市中大関山	通年	44
67	射水市	経嶽山	射水市青井谷	通年	45
68	射水市	串田新遺跡からの眺望	射水市串田新	春～秋	45
69	射水市	下村加茂神社の参道	射水市加茂中部	通年	46
70	高岡市	雨晴海岸とその眺望	高岡市雨晴	通年	46
71	高岡市	国泰寺の石庭	高岡市西田	春～秋	47
72	高岡市	氣多神社周辺のカタクリ群生地	高岡市伏木一宮	カタクリ:4月上旬	47
73	高岡市	二上山とその眺望	高岡市二上山	通年	48
74	高岡市	高岡古城公園	高岡市古城	通年、サクラ:4月上旬～中旬	48
75	高岡市	水道つつじ公園	高岡市笹八口	春～秋、サクラ:4月上旬～中旬、ツツジ:5月	49
76	高岡市	中田のホテル等の生息地	高岡市中田	通年、ホテル:6月下旬	49
77	高岡市	五位の滝の沢	高岡市福岡町五位	夏期	50
78	高岡市	赤丸浅井神社の杉並木と境内林	高岡市福岡町赤丸	春～秋	50
79	高岡市	福岡の昔田	高岡市福岡町	7月末の晴天日	51
80	氷見市	長坂の棚田	氷見市長坂	5月～9月	51
81	氷見市	蛇が島	氷見市姿	通年	52
82	氷見市	氷見沖の定置網の景観	氷見市小境海岸 ほか	通年	52
83	氷見市	阿尾の浦	氷見市阿尾	通年	53
84	氷見市	唐島	氷見市中央町	通年	53
85	氷見市	松田江の長浜	氷見市島尾、柳田、窪	通年	54
86	氷見市	十二町湯の水郷景観	氷見市十二町	4月下旬、オニバス:夏期、ハクチョウ:冬期	54
87	氷見市	藤波神社の白藤と社叢	氷見市下田子	フジ:5月	55
88	氷見市	光久寺の茶庭	氷見市飯久保	春～秋	55

No.	市町村	名 称	所 在 地	見 頃	掲載頁
89	砺波市	マスマスギの林業景観	砺波市増山	通年	57
90	砺波市	頼成の森の花菖蒲畑	砺波市頼成	6月中旬～下旬	57
91	砺波市	砺波平野の眺望 ①夢の平からの眺望 ②稲葉山からの眺望 ③閑乗寺公園からの眺望 ④安居寺周囲からの眺望 ⑤医王山とその眺望	①砺波市五谷 ②小矢部市稲葉山 ③南砺市井波外 ④南砺市安居 ⑤南砺市才川七	春～秋	58～60
92	砺波市	砺波平野のチューリップ畑景観	砺波平野一帯	チューリップ:4月下旬～5月上旬	60
93	砺波市	瓜裂清水(うりわりしょうず)	砺波市庄川町金屋	通年	61
94	砺波市	庄川峡	砺波市庄川町小牧 ほか	通年	61
(91)	小矢部市	砺波平野の眺望 ②稲葉山からの眺望	小矢部市稲葉山	春～秋	59
95	小矢部市	宮島峡と宮島杉	小矢部市名ヶ滝 ほか	春～秋	62
96	小矢部市	宝性寺の庭園	小矢部市岡	春～秋	62
97	小矢部市	城山公園	小矢部市城山町	春期、秋期	63
98	小矢部市	坪野地区の棚田	小矢部市道坪野、峯坪野、谷坪野	春～秋	63
99	小矢部市	俱利伽羅	小矢部市蓮沼、埴生 ほか	春～秋	64
(91)	南砺市	砺波平野の眺望 ③閑乗寺公園とその眺望 ④安居寺周辺からの眺望 ⑤医王山とその眺望	③南砺市井波外 ④南砺市安居 ⑤南砺市才川七	春～秋	59,60
100	南砺市	善徳寺の庭園	南砺市城端	春～秋	64
101	南砺市	縄ヶ池	南砺市蓑谷山	ミスバショウ:4月下旬～5月上旬 (冬期閉鎖)	65
102	南砺市	夫婦滝	南砺市林道	5月～10月	65
103	南砺市	天柱石	南砺市上松尾	春～秋	66
104	南砺市	相倉の棚田	南砺市相倉	5月下旬～10月	66
105	南砺市	五箇山の茅場	南砺市相倉 ほか	10月中旬～下旬	67
106	南砺市	人形山の雪絵	南砺市田向	4月下旬～5月上旬	68
107	南砺市	菅沼の雪持林	南砺市菅沼	春～秋、紅葉:10月下旬	68
108	南砺市	金剛堂山	南砺市利賀村上百瀬	春～秋	69
109	南砺市	不動滝	南砺市大谷	春～秋	69
110	南砺市	赤祖父湖と周囲の景観	南砺市井口	春～秋	70
111	南砺市	ふくみつ河川公園の桜並木	南砺市福光	通年、サクラ:4月上旬～中旬	70



# 「とやまの名勝」百選マップ





凡 例	
	高速道路
	国道
	一般道
	JR線
	私鉄
	河川
	市町村境

